

JVC

リモートコントロールユニット

型名 **RM-P3000**

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

目次

はじめに

正しくお使いいただくためのご注意.....	3
付属品・添付物.....	3
特長.....	3
システム構成図.....	4
各部の名称とはたらき.....	5

操作編

電源を入れる.....	11
カメラを選んで操作する.....	12
ポジションを選ぶ.....	17
・ポジションとは.....	17
・ホームポジションを選ぶ.....	18
・プリセットポジションを選ぶ.....	21
映像を次々と切り換える（シーケンス動作）.....	23
・オートシーケンス動作.....	23
・プリセットシーケンス動作.....	24
カメラを水平方向に自動で往復させる（オートパン）.....	25
その他の機能.....	26
・夜間に適した設定で見る（夜間モード）.....	26
・様々な角度から見る（マルチポジション）.....	27
・モニターを切り換えて映像を見る.....	28
・アラーム動作について.....	29
・ハードディスクレコーダーを操作する.....	31
・省電力モードを設定する.....	32
本体の設定を変更する.....	33

設定編

設定の流れ.....	38
メニュー画面の流れ.....	39
メニュー画面の基本操作.....	41
システム設定.....	43
カメラメニュー設定.....	49
ホームポジション設定.....	50
プリセットポジション設定.....	52
アラーム設定.....	58
アラームメニューの設定.....	58
アラーム動作について.....	59
アラーム制御パターンについて.....	60
本体設定.....	62
キーロック（誤操作防止）.....	64
設定時のメッセージ表示について.....	65

その他

液晶パネルのメッセージ表示について.....	66
こんなときは.....	67
「ユニットー端子番号」接続機器.....	69
保証とアフターサービス.....	70
仕様.....	70

接続については、システムコントロールユニット（SW-2200）の取扱説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは
リモートコントロールユニット RM-P3000 を
ご購入いただきありがとうございます。

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

- 次のような場所に置かないでください。
誤動作や故障の原因となります。
 - 許容動作温度（0℃～50℃）範囲外の暑いところや寒いところ
 - 許容動作湿度（30%RH～80%RH 結露なきこと）範囲外の湿気の多いところや少ないところ
 - 変圧器やモーターなど強い磁気が発生する機器の近く
 - トランシーバーや携帯電話など電波が発生する機器の近く
 - ほこりや砂の多いところ
 - 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
 - 放射線や X 線、および塩害や腐食性ガスの発生するところ
 - 調理台の近くなど油煙や湯気の当たる場所
 - 振動の激しいところや不安定なところ
- 直射日光の当たる車の中や暖房機の近くに長時間放置しないでください。
- 砂浜など、砂ほこりが多い場所でご使用になるときは、内部に砂などが入らないよう、十分注意してください。

取り扱いについて

- タッチパネルの表面を鋭利な刃物やとがった物などでこすったり押しったりしないでください。
- コントロールレバーを持ったまま、本機を持ち上げるなど、無理な力をかけないでください。

お手入れについて

- お手入れは、電源を切ってから行なってください。
- 本機は柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり、曇ったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

机の上に設置するときの注意点

- 振動などで落下しないように設置してください。

省エネルギーについて

- ご使用にならないときは、節電のために電源スイッチを「切」に設定してください。

特長

本機とシステムコントロールユニット（SW-2200）およびコンビネーションカメラ（TK-S686B、TK-S685 など）を組み合わせるとの特長です。

■ 液晶タッチパネルで簡単操作

フルカラー液晶タッチパネル搭載で、多彩な画面構成により簡単操作を実現しています。

■ 3軸ジョイスティックでカメラを自在に操作

3軸ジョイスティック搭載で、カメラの操作性が格段にアップ。パン/チルト/ズームの操作もスムーズに行えます。

■ コンビネーションカメラを最大 80 台まで制御

SW-2200 を 5 台接続することにより最大 5 か所から最大 80 台のコンビネーションカメラを制御できます。

■ モニターを最大 5 台まで接続

モニターを 5 台接続することにより、5 通りの映像を出力できます。

■ 名称選択可能なカテゴリーボタン

監視したい場所ごとに（パチンコ、スロット、出入口、駐車場など）、映像を 6 つのカテゴリーに区分けでき、画面上のボタンの名称を選択することができます。

■ マルチポジション

1 か所に最大 3 台のカメラを割り付けることで、3 方向から監視するので死角がなくなります。

■ ハードディスクレコーダーを制御可能

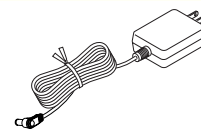
SW-2200 の外部制御端子に接続されたハードディスクレコーダー（VR-777DX など（別売））を制御することができます。

付属品・添付物

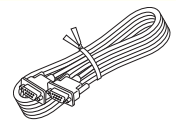
CD-ROM（取扱説明書）
（本書）



はじめにお読み
ください



ACアダプター



接続ケーブル
(SW-2200 との接続用)



保証書

安全上のご注意



ケーブルクランプ



スクリュー
(M3 × 8mm)

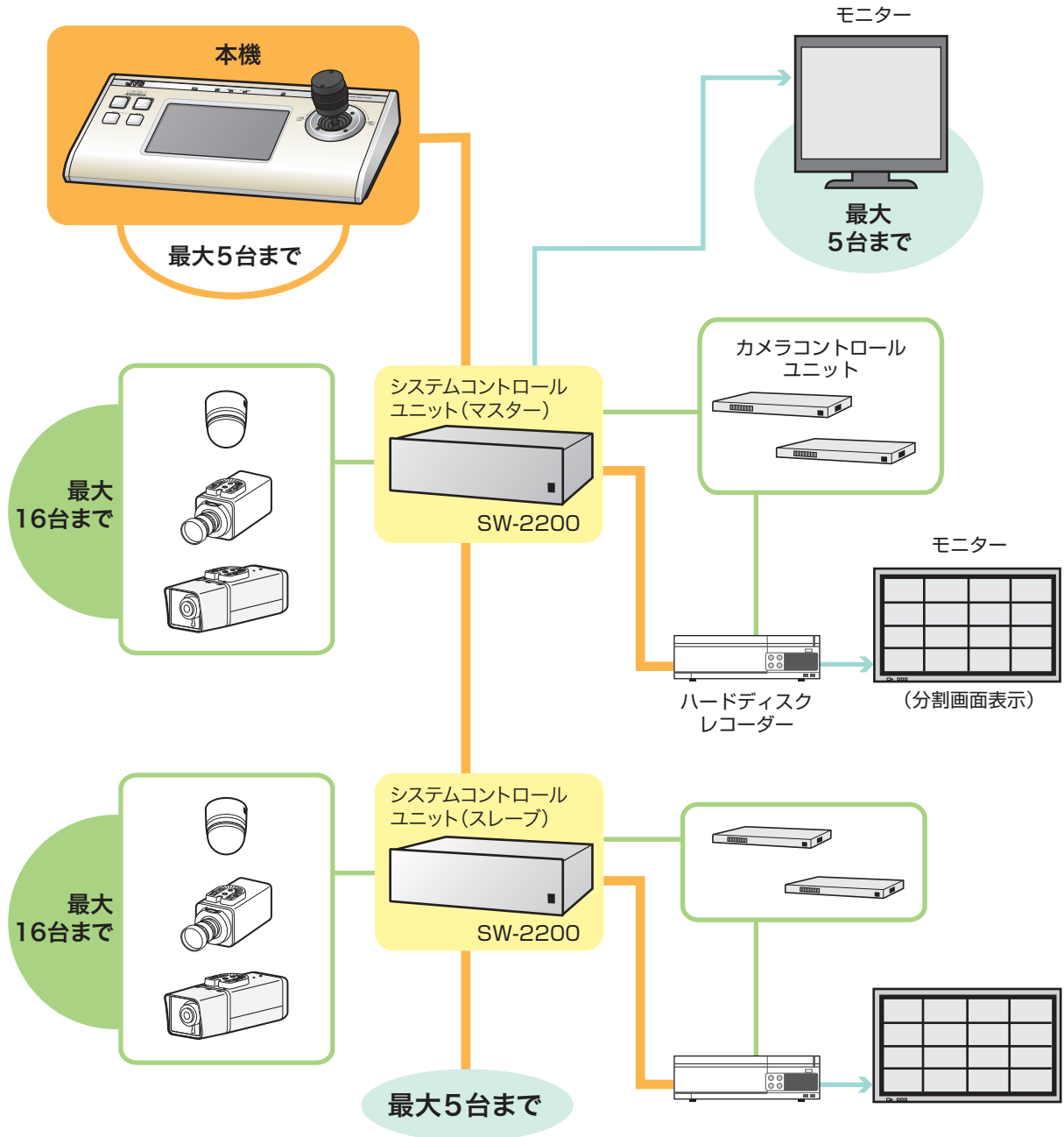
(ACアダプター用)

はじめに (つづき)

■ システム構成図

本機と SW-2200 およびコンビネーションカメラ (TK-S686B、TK-S685 など) を組み合わせた代表的なシステム構成図です。

- 各機器の接続は、必ず電源を切った状態で行なってください。



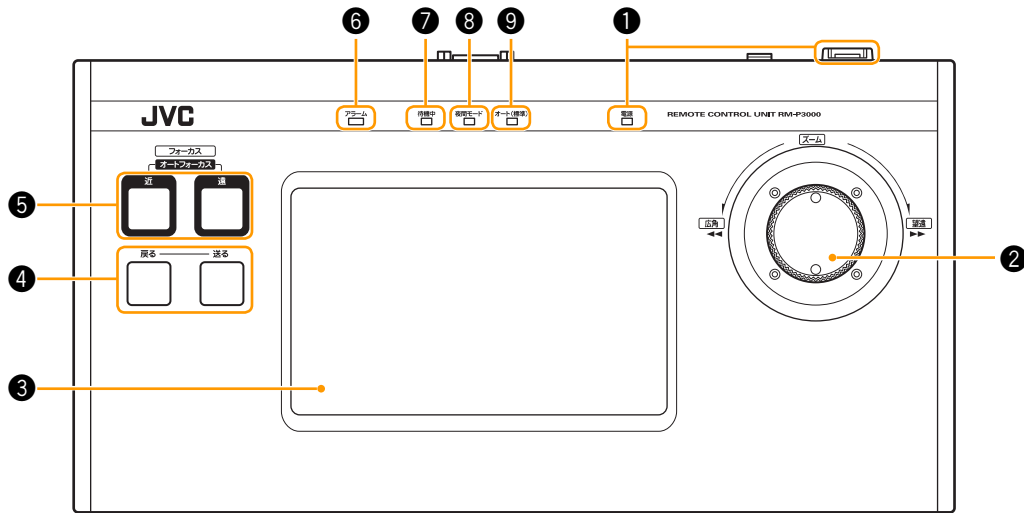
システム構成について

ハードディスクレコーダーの制御が行えるのは、シリアルナンバープレートの機種名が SW-2200(A) 以降の商品です。RM-P3000、RM-P2200、SW-2200 を複数台組み合わせて使用する場合、RM-P2200 および SW-2200 について、シリアルナンバープレートの機種名が RM-P2200(A) および SW-2200(A) 以降であることを確認してください。(A) 以降でない商品が混在していると、システムが正しく動作しない場合があります。

はじめに (つづき)

各部の名称とはたらき

フロントパネル

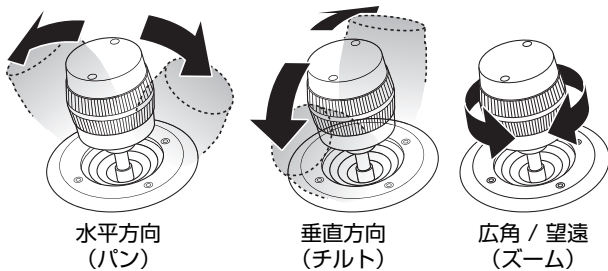


① 電源スイッチ / ランプ

電源を入 / 切します。「入」側になると電源ランプが点灯します。

② パン / チルト / ズーム コントロールレバー

レバーの方向に合わせてカメラの向きを動かします。左右に傾けると水平方向（パン）に、上下に傾けると垂直方向（チルト）に動きます。レバーを回転させるとズームします。（→ 14 ページ）



③ 液晶パネル (タッチパネル)

画面にタッチしてカメラの操作やメニューの設定をします。

ご注意

液晶パネルを先のものがたつたもので押ししたり、こすったりしないでください。故障の原因になることがあります。

④ [戻る] / [送る] ボタン

カメラ番号、ポジション番号を切り換えます。

⑤ [(フォーカス) 近] ボタン / [(フォーカス) 遠] ボタン

レンズのフォーカス（ピント）を調節します。

フォーカス 近：近い被写体にピントを合わせる

フォーカス 遠：遠い被写体にピントを合わせる

- 同時に 1 秒以上押しすと、自動でフォーカスを合わせます。（オートフォーカス）（→ 15 ページ）
- フォーカススピードは 4 段階で調節することができます。（→ 7 ページ）

⑥ [アラーム] ランプ

SW-2200 からアラーム入力があると点灯します。（→ 29、59 ページ）

⑦ [待機中] ランプ

本機が待機中のとき点灯します。また、省電力モード中はゆっくり点滅します。点灯しているあいだは本機を操作することができません。（→ 32、41 ページ）

⑧ [夜間モード] ランプ

夜間モードが「入」のとき点灯します。また、夜間モードへ移行中に点滅します。

⑨ [オート (標準)] ランプ

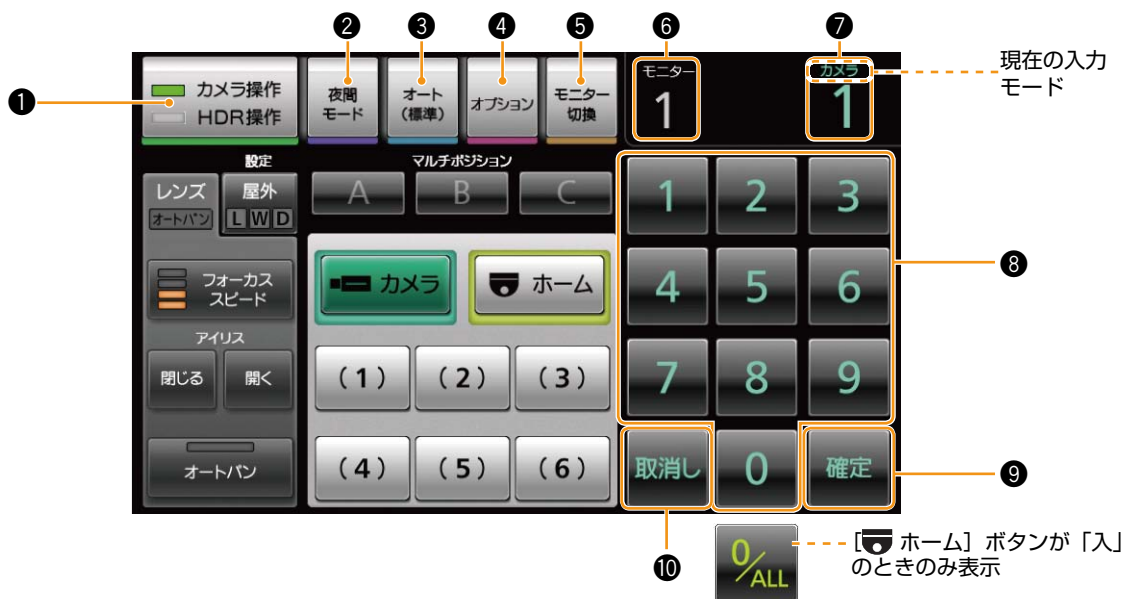
シーケンス動作が「入」のとき点灯します。（→ 23 ページ）

はじめに (つづき)

■ 各部の名称とはたらき (つづき)

カメラ操作画面

映像の選択やカメラ操作などを行うための画面です。



① [カメラ操作 / HDR 操作] ボタン / ランプ

ボタンを押すごとに、カメラ操作画面と HDR 操作画面の表示が切り換わります。(「HDR 操作画面」→ 31 ページ)

表示中の操作画面のランプが点灯します。

② [夜間モード] ボタン

夜間モードを入 / 切します。(→ 26 ページ)

「入」のとき本機上部の [夜間モード] ランプが点灯します。また、夜間モード移行中は点滅します。

③ [オート (標準)] ボタン

シーケンス動作を入 / 切します。(→ 23 ページ)

「入」のとき本機上部の [オート (標準)] ランプが点灯します。

④ [オプション] ボタン

SW-2200 のメニュー設定で選択した機能によって使用します。(→ 44 ページ)

⑤ [モニター切換] ボタン

押すごとに、映像を表示するモニターが切り換わります。

・SW-2200 背面部「TO RM-P2200」1 番端子に接続されたリモコン (リモコン 1) で複数のモニターを設定している場合に使用します。

⑥ モニター番号表示部

選択中のモニター番号を表示します。(操作するモニターが 1 台のみの場合は、[モニター切換] ボタンを押ししているあいだのみモニター番号を表示します。)

⑦ カメラ / ポジション番号表示部

選択中のカメラ番号またはポジション番号を表示します。

数字の上部に現在の入力モードを表示します。

カメラ番号入力モードのとき

[カメラ] ボタンが「入」のとき:

カメラ

ポジション番号入力モードのとき

[ホーム] ボタンが「入」のとき:

ホーム

(例)

カテゴリーボタンを選択しているとき:

(1)

⑧ [0] / [0/ALL] ~ [9] ボタン (テンキー)

数字を入力します。[ホーム] ボタンが「入」のときに [0/ALL] ボタンを押すと、一度にすべてのカメラをホームポジションに向けることができます。

⑨ [確定] ボタン

入力した数字を確定します。

⑩ [取消し] ボタン

入力した数字を取り消します。

はじめに (つづき)

■ 各部の名称とはたらき (つづき)

カメラ操作画面 (つづき)



11 [(マルチポジション) A] / [(マルチポジション) B] / [(マルチポジション) C] ボタン

マルチポジションが設定されているカメラ間で映像を切り換えます。(マルチポジションが設定されているときのみ、ボタンが有効になります。) (→ 27 ページ)

12 [カメラ] ボタン

カメラを選択するときに使用します。ボタンを押すとカメラ番号入力モードになり、カメラ番号表示部に「_」(カーソル)が表示され、カメラ番号を入力できるようになります。



13 [ホーム] ボタン

ホームポジションに向けたいカメラを選択するときに使用します。ボタンを押すとホームポジション番号入力モードになり、ポジション番号表示部に「_」(カーソル)が表示され、ホームポジション番号を入力できるようになります。たとえば、カメラ 14 のホームポジションを選択する場合は、「14」を入力します。

14 カテゴリーボタン

あらかじめ6つのカテゴリーに分けて登録したプリセットポジションの映像を、カテゴリーごとに選択します。ボタンを押すとプリセットポジション入力モードになり、ポジション番号表示部に「_」が表示され、プリセットポジション番号を入力できるようになります。カテゴリーの名前は変更することができます。(→ 21、52 ページ)

15 [オートパン] ボタン/ランプ

押すごとにカメラのオートパンを入/切します。「入」にすると [オートパン] ランプと 18 が点灯します。(→ 25 ページ)

16 [(アイリス) 閉じる] / [(アイリス) 開く] ボタン

レンズのアイリス (絞り) を調節します。(→ 16 ページ)
閉じる : アイリス (絞り) を閉じる
開く : アイリス (絞り) を開く

17 [フォーカススピード] ボタン/ランプ

フォーカス (ピント) の調節スピードを 4 段階で切り換えることができます。押すごとに動作スピードが速くなり、現在のスピードの段階がランプで表示されます。



4段階目 (一番速い) でボタンを押すと、1 段階目 (一番遅い) に戻ります。(電源を「入」にしたときは2段階目に設定されています)

18 [オートパン] ランプ

[オートパン] ボタンを「入」にしているとき点灯します。(→ 25 ページ)

19 [レンズ] タブ

レンズの操作を行うためのボタンを表示します。[レンズ] タブが [屋外] タブの下側になっているときに [レンズ] タブにタッチすると、[レンズ] タブが上側に表示されます。

はじめに (つづき)

各部の名称とはたらき (つづき)

カメラ操作画面 (つづき)



②① [屋外] タブ

屋外カメラの操作を行うためのボタンを表示します。
[屋外] タブが [レンズ] タブの下側になっているときに [屋外] タブにタッチすると、[屋外] タブが上側に表示されます。

②① [(L) / (W) / (D)] ランプ

[(L) 照明] ボタン、[(W) ワイパー] ボタン、[(D) デフロスター] ボタンが「入」のとき点灯します。

[(L) : [照明] ボタンが「入」のとき点灯

[(W) : [ワイパー] ボタンが「入」のとき点灯

[(D) : [デフロスター] ボタンが「入」のとき点灯

②② [本体設定] ボタン

本体操作や画面の設定を行う「本体設定」画面を表示します。(→ 33、62 ページ)

②③ [メニュー] ボタン / ランプ

SW-2200 のメニュー画面をモニターに表示し、設定することができます。ボタンを2秒以上押し続けると、メニュー画面が表示されます。メニューが表示されているあいだ、ランプが点灯します。(→ 41 ページ)

[セット] ボタン

SW-2200 のメニューで設定した項目を決定します。

②④ [(L) 照明] ボタン / ランプ

ボタンを押すごとに屋外カメラの照明を入 / 切します。「入」にするとランプと [(L) ランプ (②①)] が点灯します。

[(W) ワイパー] ボタン / ランプ

ボタンを押すごとに屋外カメラのワイパーを入 / 切します。「入」にするとランプと [(W) ランプ (②①)] が点灯します。

[(D) デフロスター] ボタン / ランプ

ボタンを押すごとに屋外カメラのデフロスターを入 / 切します。「入」にするとランプと [(D) ランプ (②①)] が点灯します。

はじめに (つづき)

■ 各部の名称とはたらき (つづき)

HDR 操作画面

ハードディスクレコーダーの操作を行うための画面です。



- ②5 [(HDR 切替) - (マイナス)] / [(HDR 切替) + (プラス)] ボタン

ハードディスクレコーダーを複数台接続している場合に使用します。押すごとに、ハードディスクレコーダーが切り換わります。(→ 31 ページ)

- (マイナス) : 前のハードディスクレコーダーの最初のカメラ映像に切り換える

+ (プラス) : 次のハードディスクレコーダーの最初のカメラ映像に切り換える

- ②6 [(表示切替) 単画面] / [(表示切替) 分割画面] ボタン

ハードディスクレコーダーの映像表示を、単画面または分割画面に切り換えます。(→ 31 ページ)

- ②7 [Q 検索] ボタン

ハードディスクレコーダーの映像を検索します。(→ 31 ページ)

- ②8 [決定] ボタン

映像検索画面の項目の決定や、検索結果の決定に使用します。(→ 31 ページ)

- ②9 [▶ (再生)] ボタン

ハードディスクレコーダーを再生します。

- [■ (停止)] ボタン

ハードディスクレコーダーの再生を停止します。

- [⏸ (一時停止)] ボタン

ハードディスクレコーダーの再生を一時停止します。

- [⏮ (スキップ - (マイナス))] ボタン

ハードディスクレコーダーの再生を、設定されたモードで - (マイナス) 方向へスキップします。

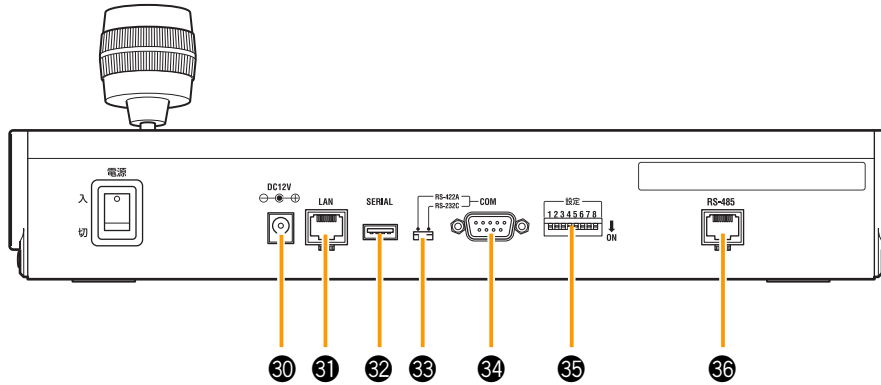
- [⏭ (スキップ + (プラス))] ボタン

ハードディスクレコーダーの再生を、設定されたモードで + (プラス) 方向へスキップします。

はじめに (つづき)

■ 各部の名称とはたらき

リアパネル



③⑩ [DC12V] 電源入力端子

付属の AC アダプターから DC 電源を入力します。

ご注意

付属の AC アダプター以外は使用しないでください。

③⑪ [LAN] 端子

現在は機能しません。

③⑫ [SERIAL] 端子

現在は機能しません。

③⑬ [RS-422A / RS-232C] 切り換えスイッチ

③⑭ [COM] 端子のモードを RS-422A または RS-232C に切り換えます。SW-2200 と接続する場合は RS-422A に設定します。(出荷時は RS-422A に設定されています。)

③⑭ [COM] 端子

RS-422A 制御または RS-232C 制御をするとき使用します。

付属のケーブルを使用して、SW-2200 背面の「TO RM-P2200」端子と接続します。

③⑮ 設定切替スイッチ

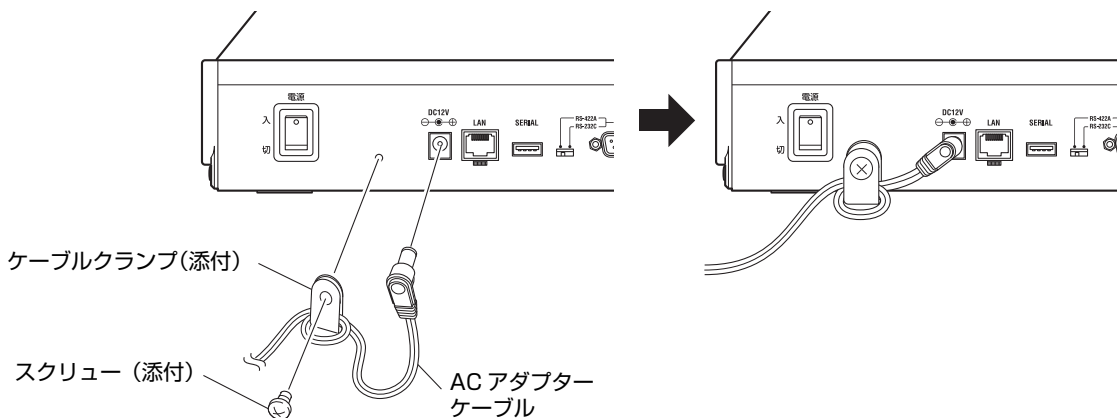
現在は機能しません。

すべての設定を必ず「OFF」にしてご使用ください。(出荷時はすべて「OFF」に設定されています)

③⑯ [RS-485] 端子

現在は機能しません。

ケーブルクランプの取り付け方

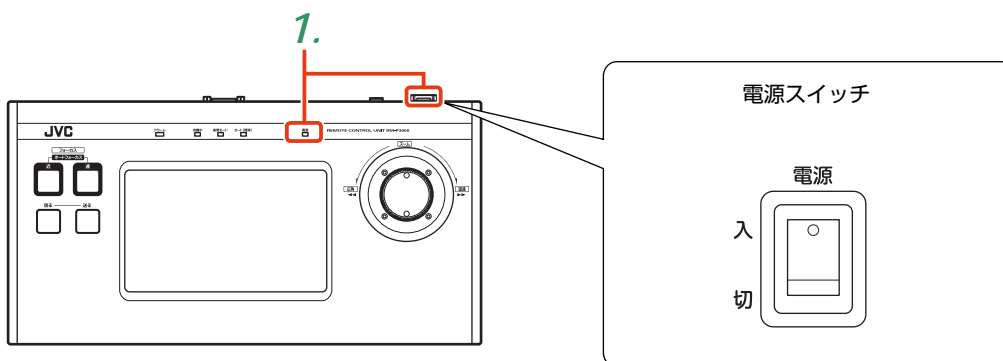


操作

※以降の説明は、SW-2200 システム（本機を含む）で電源を「入」にした場合を前提としています。

電源を入れる

本機の電源を入れて、操作画面を表示させます。



1.



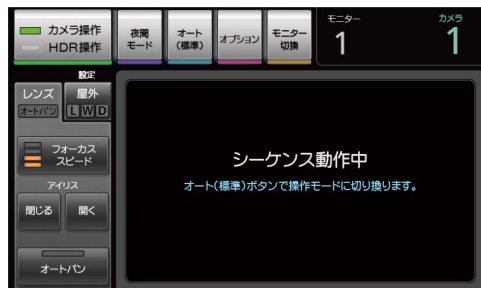
【電源】スイッチを「入」にする

- 電源が入り、[電源] ランプが点灯します。
- 液晶表示部にスタート画面が表示されます。同時に [アラーム] ランプ、[待機中] ランプ、[夜間モード] ランプ、[オート (標準)] ランプが点灯します。このあいだは本機を操作できません。



スタート画面

- 約 10 秒後にスタート画面が消え、カメラ操作画面が表示されます。
- カメラ操作画面の上部に「システムコントロールユニットの初期化待ちです。しばらくお待ちください。」と表示されているあいだは、本機を操作できません。初期化が終了すると、自動的に [オート (標準)] ランプが点灯し、モニターに映像が表示されます。



カメラ操作画面

お知らせ

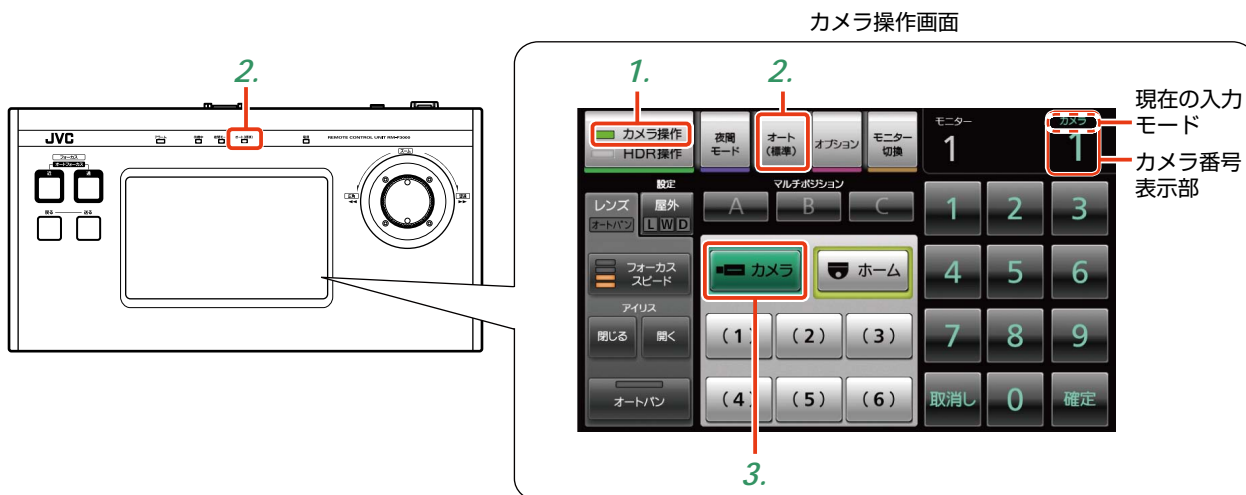
- 本機のみ電源を再度「入」にした場合、操作画面は電源を切る直前の内容に戻ります。

操作 (つづき)

■ カメラを選んで操作する

カメラを選択する

カメラ番号を指定して、モニターに映像を映します。



1. [カメラ操作 / HDR 操作] ボタンの [カメラ操作] ランプが点灯していることを確認する



- 電源を入れた直後は、「カメラ操作」が点灯しています。
- 「HDR 操作」が点灯しているときは、[カメラ操作 / HDR 操作] ボタンを押します。ボタンを押すごとに、「カメラ操作」と「HDR 操作」が切り換わります。

2. [オート (標準)] ボタンを押す



[オート (標準)] ランプが消灯し、シーケンス動作が解除されます。

3. [カメラ] ボタンを押す



[カメラ] ボタンが点灯します。

カメラ操作画面のカメラ番号表示部に「_」(カーソル)が表示され、カメラ番号を入力できるようになります。

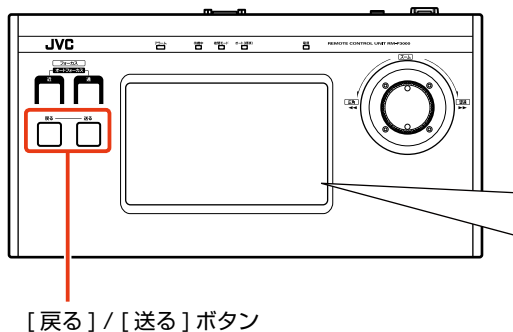
また、数字の上部に現在の入力モードを表示します。



操作 (つづき)

■ カメラを選んで操作する (つづき)

カメラを選択する (つづき)



カメラ操作画面



4. カメラの番号を入力する



例として、カメラ 14 を入力します。
[1]、[4] の順番にボタンを押して、カメラ番号表示部に「14」と表示させます。



• 入力を間違えたときは、[取消し] ボタンを押します。

5. [確定] ボタンを押す



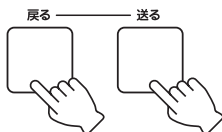
番号の下の「_」(カーソル)が消えて、選んだカメラの映像がモニターに映し出されます。



- 他のカメラに切り換えるときは、手順 4 と 5 をくり返します。
- [確定] ボタンを押しても「_」(カーソル)が消えないときは、入力した番号のカメラが存在しません。番号を確かめて入力し直してください。

■ 前または次の番号のカメラに切り換えるには

1. 本体の [戻る] ボタンまたは [送る] ボタンを押す



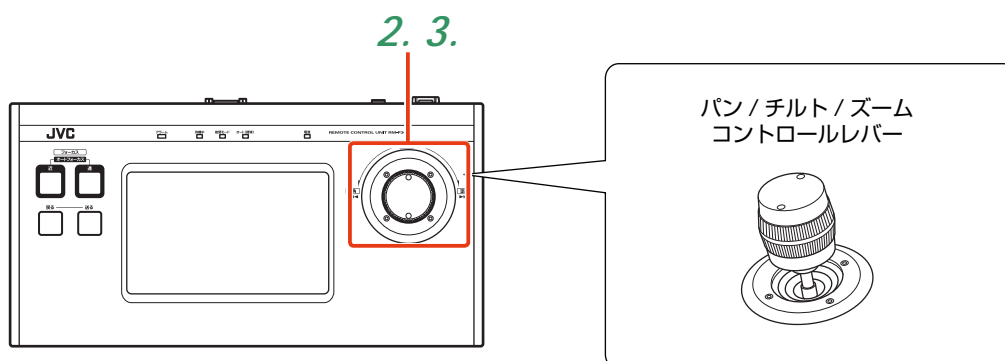
前または次の番号のカメラに切り換わります。

- 最大番号で次のカメラを選んだり、最小番号で前のカメラを選んだときは、一巡してカメラが選ばれます。

操作 (つづき)

■ カメラを選んで操作する (つづき)

カメラを操作する (カメラの方向を変える / 画面の大きさを調節する)

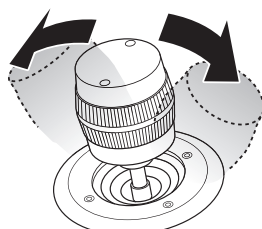


1. 操作するカメラを選択する

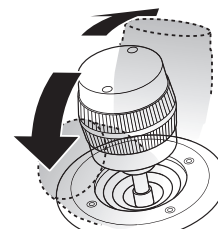
12～13 ページの手順で、操作するカメラを選択します。

2. カメラを動かしたい方向に、パン/チルト/ズーム コントロールレバーを傾ける (パン/チルト動作)

レバーを左右に傾けると水平方向 (パン) に、上下に傾けると垂直方向 (チルト) に動きます。



水平方向 (パン)

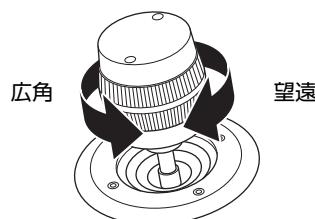


垂直方向 (チルト)

• レバーの傾きに応じて、カメラの動作スピードが変わります。スピードは4～8段階に調節することができます。(→ 36 ページ)

3. パン/チルト/ズーム コントロールレバーを回して画角の大きさを調節する (ズーム動作)

レバーを時計回りに回すと被写体が大きく (望遠)、反時計回りに回すと被写体が小さく (広角) 映ります。



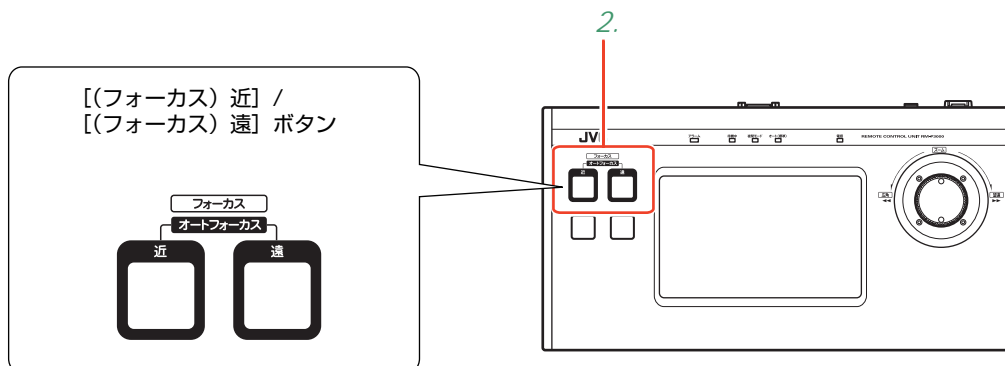
広角 / 望遠 (ズーム)

• レバーの回転角度に応じて、ズームの動作スピードが変わります。スピードは4段階です。

操作(つづき)

■ カメラを選んで操作する(つづき)

カメラを操作する(ピントを合わせる)



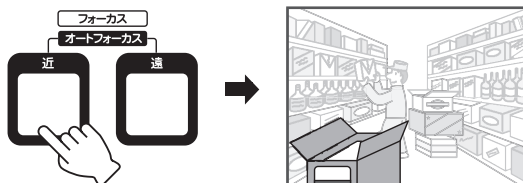
1. 操作するカメラを選択する

12～13 ページの手順で、操作するカメラを選択します。

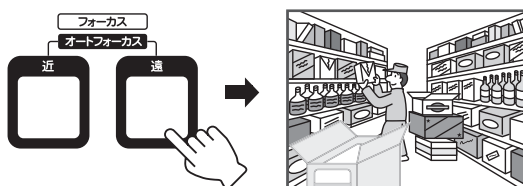
2. [(フォーカス) 近] ボタンまたは [(フォーカス) 遠] ボタンを押して、被写体にピントを合わせる



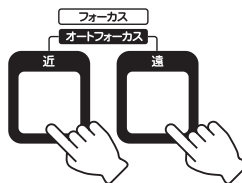
[(フォーカス) 近] ボタンを押すと、近い被写体にピントを合わせます。



[(フォーカス) 遠] ボタンを押すと、遠い被写体にピントを合わせます。



[(フォーカス) 近] ボタンと [(フォーカス) 遠] ボタンを同時に1秒以上押すと、「ピッ」と音がして自動的に被写体にピントを合わせます。(オートフォーカス)

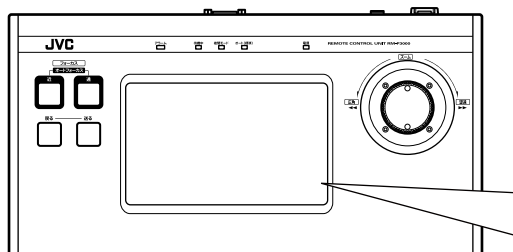


- フォーカススピードは4段階で調節することができます。(→7ページ)
- 被写体やカメラの設定によっては、オートフォーカスでピントを合わせられない場合があります。その場合は、[(フォーカス) 近] ボタンまたは [(フォーカス) 遠] ボタンでピント合わせを行なってください。

操作 (つづき)

■ カメラを選んで操作する (つづき)

カメラを操作する (映像の明るさを調節する)



カメラ操作画面



1. 操作するカメラを選択する

12～13 ページの手順で、操作するカメラを選択します。

2. [(アイリス) 閉じる] ボタンまたは [(アイリス) 開く] ボタンを押す

[(アイリス) 閉じる] ボタンを押すと、アイリス (絞り) を閉じます。



[(アイリス) 開く] ボタンを押すと、アイリス (絞り) を開きます。



操作 (つづき)

■ ポジションを選ぶ

ポジションとは

このシステムでは、1台のカメラで複数の撮影位置を設定することができます。この撮影位置のことを「ポジション」といいます。TK-S685/TK-S686Bは256通りの撮影位置を設定することができます。1台のカメラに設定できるポジションの数は、カメラによって異なります。

設定した撮影位置は「ホームポジション」または「プリセットポジション」として登録され、いつでも呼び出すことができます。

ホームポジションとは

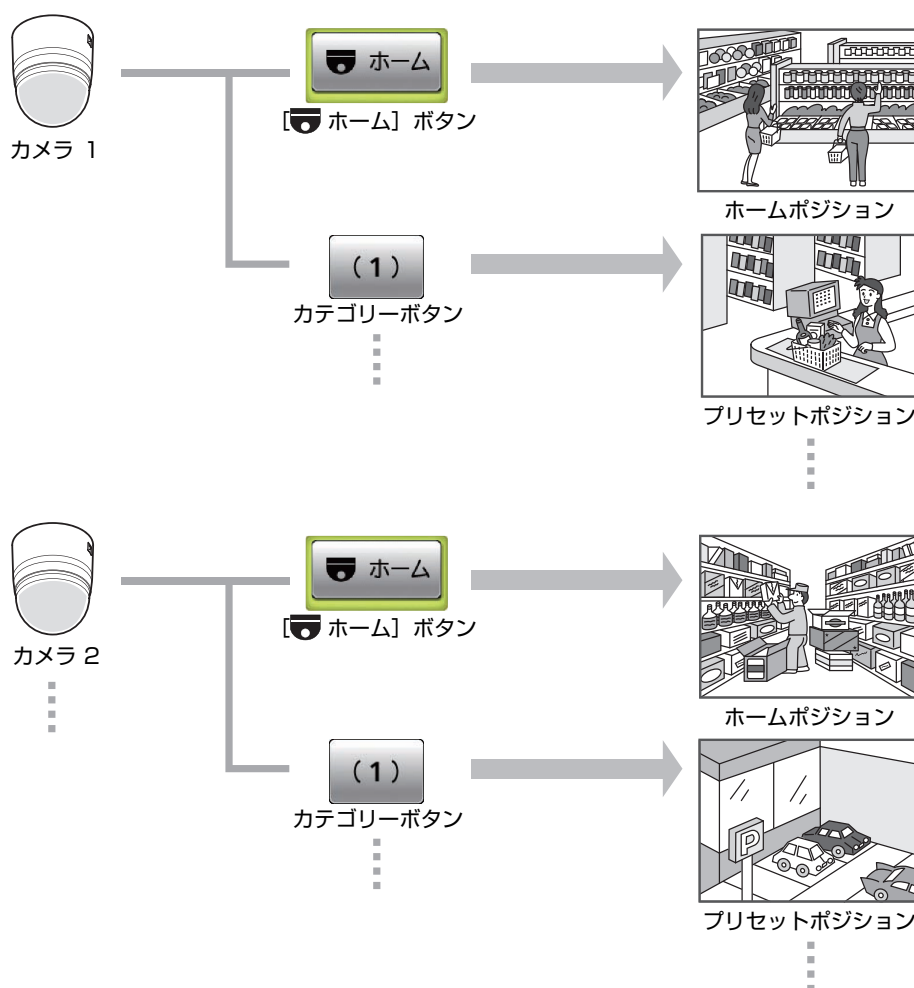
基準となる撮影位置を「ホームポジション」といいます。1台のカメラに1つのホームポジションを設定できます。

[オート (標準)] ボタンが「入」のとき (シーケンス動作中) および [ホーム] ボタンが「入」のときに、ホームポジションの映像が映ります。ホームポジションの映像が映っているときに、カメラを操作することもできます。

プリセットポジションとは

ホームポジション以外の、特定の撮影位置を「プリセットポジション」といいます。

カテゴリーボタンが「入」のときに、プリセットポジションの映像が映ります。プリセットポジションの映像が映っているときに、カメラを操作することもできます。

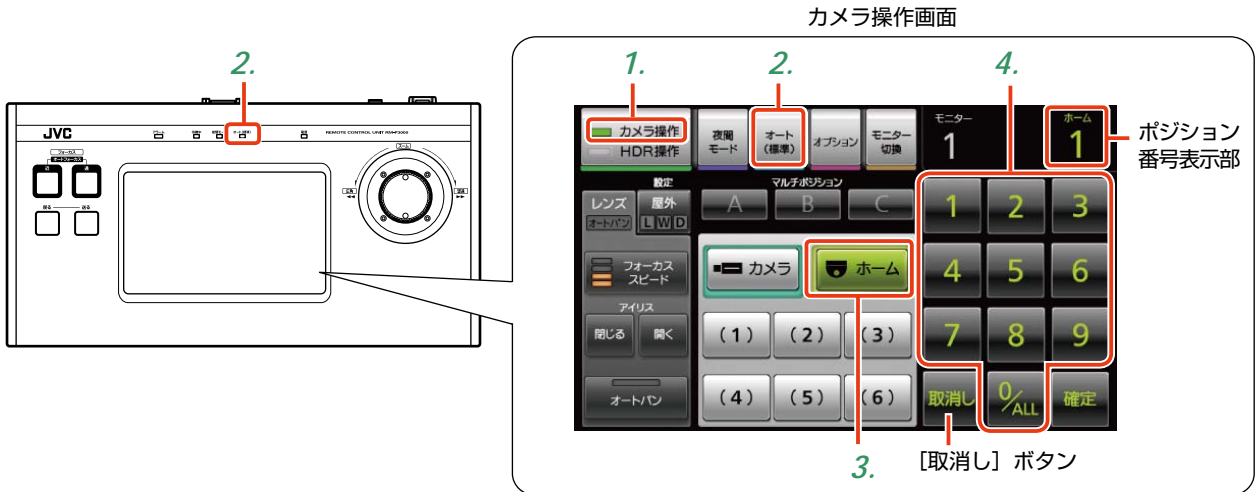


操作 (つづき)

■ ポジションを選ぶ (つづき)

ホームポジションを選ぶ

ホームポジション番号を指定して、ホームポジションの映像を映します。



1. [カメラ操作 / HDR 操作] ボタンの [カメラ操作] ランプが点灯していることを確認する



- 電源を入れた直後は、「カメラ操作」が点灯しています。
- 「HDR 操作」が点灯しているときは、[カメラ操作 / HDR 操作] ボタンを押します。ボタンを押すごとに、「カメラ操作」と「HDR 操作」が切り換わります。

2. [オート (標準)] ボタンを押す



[オート (標準)] ランプが消灯し、シーケンス動作 (→ 23 ページ) が解除されます。

3. [ホーム] ボタンを押す



[ホーム] ボタンが点灯します。

カメラ操作画面のポジション番号表示部に「_」(カーソル)が表示され、ホームポジション番号を入力できるようになります。

また、数字の上部に現在の入力モードを表示します。



4. ホームポジション番号を入力する



例として、カメラ 14 のホームポジションを入力します。

[1]、[4] の順番にボタンを押して、ポジション番号表示部に「14」と表示させます。

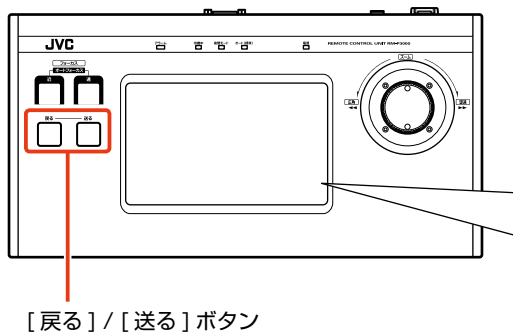


- 入力を間違えたときは、[取消し] ボタンを押します。

操作 (つづき)

■ ポジションを選ぶ (つづき)

ホームポジションを選ぶ (つづき)



カメラ操作画面



5.



【確定】 ボタンを押す

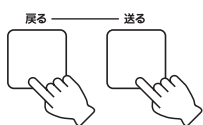
番号の下の「_」(カーソル) が消えて、選んだカメラのホームポジションの映像がモニターに映し出されます。



- 他のカメラのホームポジションに切り換えるときは、手順 4 と 5 をくり返します。
- 【確定】 ボタンを押しても「_」(カーソル) が消えないときは、入力した番号のカメラが存在しません。番号を確かめて入力し直してください。

■ 前または次の番号のホームポジション映像に切り換えるには

1.



本体の [戻る] ボタンまたは [送る] ボタンを押す

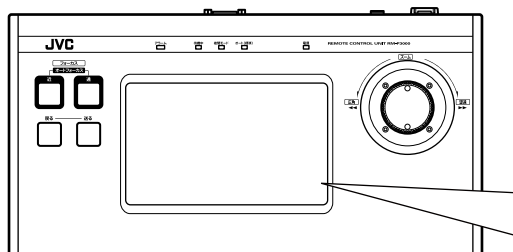
前または次の番号のホームポジションに切り換わります。

- 最大番号で次のホームポジションを選んだり、最小番号で前のホームポジションを選んだときは、一巡してホームポジションが選ばれます。

操作 (つづき)

■ ポジションを選ぶ (つづき)


ホームポジションを選ぶ (つづき)




カメラ操作画面




■ すべてのカメラをホームポジションに向けるには

1.  18 ページの手順3でテンキーの [0/ALL] ボタンを押す
カメラ操作画面のカメラ番号表示部に「ALL」と表示されます。



2.  [確定] ボタンを押す
すべてのカメラがホームポジションを向きます。

■ ホームポジションの位置から操作したカメラを元の位置に戻すには

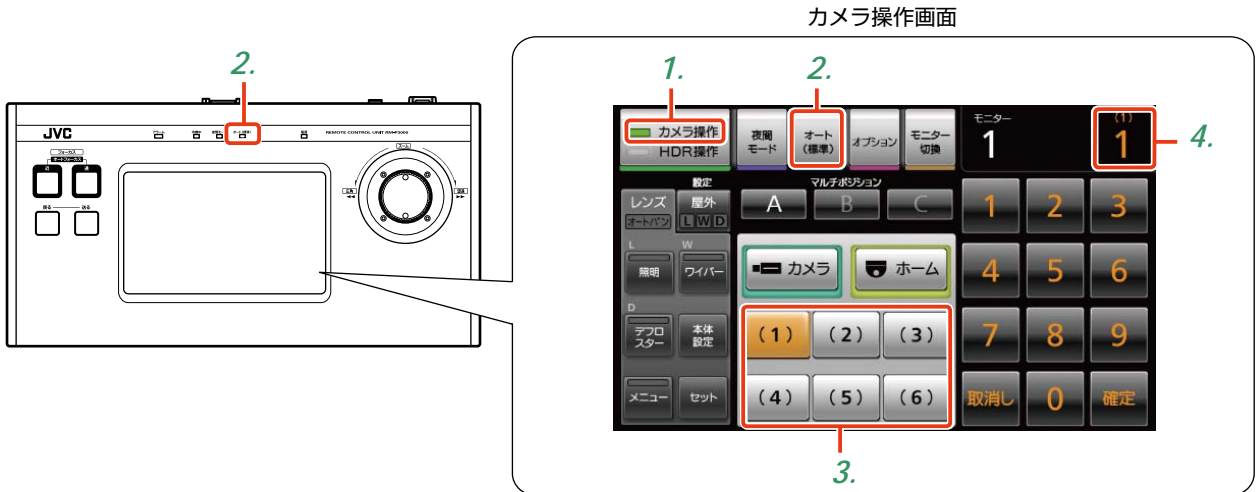
1.  [確定] ボタンを押す
元のホームポジション映像位置に戻ります。

操作 (つづき)

ポジションを選ぶ (つづき)

プリセットポジションを選ぶ

プリセットポジション番号を指定して、プリセットポジションの映像を映します。



1. [カメラ操作 / HDR 操作] ボタンの [カメラ操作] ランプが点灯していることを確認する



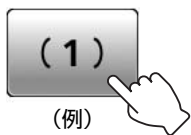
- ・電源を入れた直後は、「カメラ操作」が点灯しています。
- ・「HDR 操作」が点灯しているときは、[カメラ操作 / HDR 操作] ボタンを押します。ボタンを押すごとに、「カメラ操作」と「HDR 操作」が切り換わります。

2. [オート (標準)] ボタンを押す



[オート (標準)] ランプが消灯し、シーケンス動作が解除されます。

3. 映したいプリセットポジションが登録されているカテゴリーボタンを押す



選んだカテゴリーボタンが点灯します。カメラ操作画面のポジション番号表示部に「_」(カーソル)が表示され、プリセットポジション番号を入力できるようになります。また、数字の上部に現在の入力モードを表示します。



- ・プリセットポジションが登録されていないカテゴリーボタンの選択はできません。
- ・「_」(カーソル)表示中に数字を入力せずに「確定」ボタンを押すと、表示可能なカメラの中で最小番号のポジションがモニターに表示されます。

4. プリセットポジション番号を入力する



例として、ポジション 14 を入力します。
[1]、[4] の順番にボタンを押して、ポジション番号表示部に「14」と表示させます。

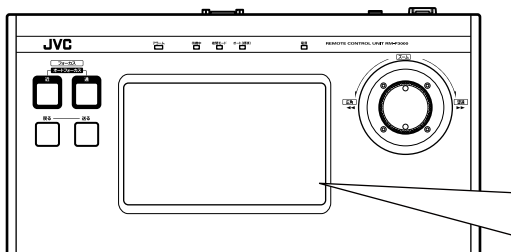


- ・入力を間違えたときは、[取消し] ボタンを押します。

操作 (つづき)

■ ポジションを選ぶ (つづき)

プリセットポジションを選ぶ (つづき)



カメラ操作画面



5.



【確定】 ボタンを押す

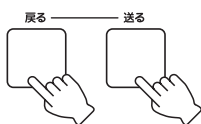
番号の下の「_」(カーソル) が消えて、選んだプリセットポジションの映像がモニターに表示されます。



- 他のプリセットポジションに切り換えるときは、手順 4 と 5 をくり返します。
- 【確定】 ボタンを押しても「_」(カーソル) が消えないときは、入力した番号のプリセットポジションが存在しません。番号を確かめて入力し直してください。

■ 同じカテゴリー内の前または次のプリセットポジションの映像に切り換えるには

1.



本体の【戻る】 ボタンまたは【送る】 ボタンを押す

前または次の番号のプリセットポジションの映像に切り換わります。

- 最大番号で次のプリセットポジションを選んだり、最小番号で前のプリセットポジションを選んだときは、一巡してプリセットポジションが選ばれます。

■ プリセットポジションから操作したカメラを元のポジションに戻すには

1.



【確定】 ボタンを押す

元のプリセットポジションに戻ります。

操作 (つづき)

映像を次々と切り換える (シーケンス動作)

各カメラの映像を、一定の時間で自動的に切り換えて表示することができます。(シーケンス動作)
シーケンス動作には「オートシーケンス動作」と「プリセットシーケンス動作」の2種類があり、設定によりどちらを使用するかを選ぶことができます。



シーケンス動作についてのご注意

- シーケンス動作中は、カメラを操作することができません。カメラを操作するには、[オート (標準)] ボタンを押してシーケンス動作を解除します。
- シーケンス動作中でも、[夜間モード] ボタン、[モニター切換] ボタン、[屋外] タブ内の各ボタンは有効です。

オートシーケンス動作

各カメラのホームポジションの映像を、一定の時間で自動的に切り換えて映します。

オートシーケンス動作を開始するには

1.



【オート (標準)] ボタンを押す

【オート (標準)] ランプが点灯し、自動的にシーケンス動作が始まります。
カメラ操作画面のカメラ番号表示部に、表示中のカメラの番号が表示されます。



カメラ操作画面

カメラ番号表示部

(例) カメラが 16 台接続されているとき



オートシーケンス動作を解除するには

1.



【オート (標準)] ボタンを押す

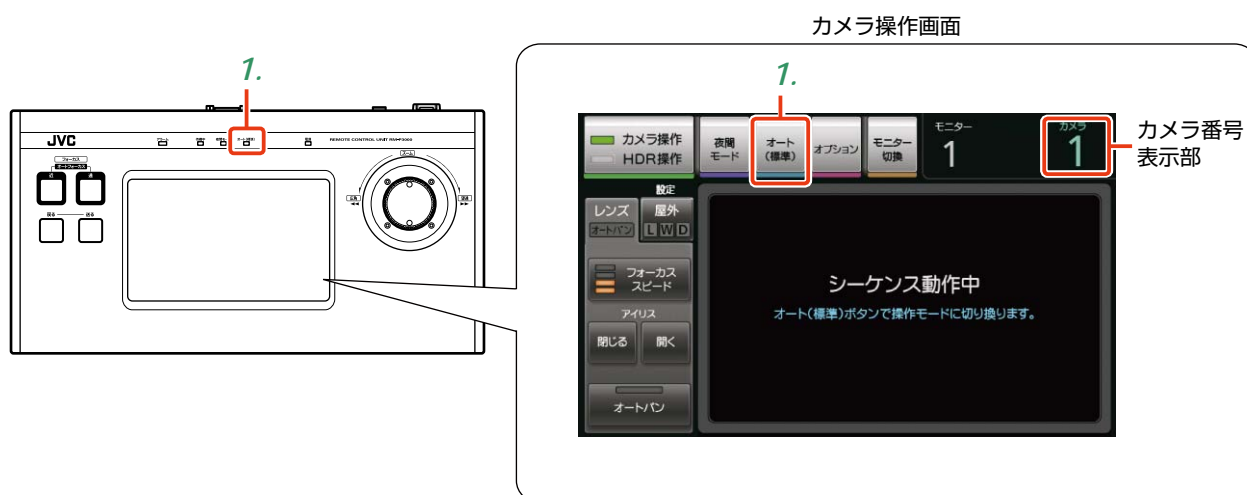
シーケンス動作が解除され、そのときに選ばれていたカメラのホームポジションの映像を映します。

操作 (つづき)

■ 映像を次々と切り換える (シーケンス動作) (つづき)

■ プリセットシーケンス動作

カテゴリーボタン (6) に登録されているプリセットポジションの映像を、シーケンス動作で表示します。



- オートシーケンス機能とプリセットシーケンス機能を同時に使用することはできません。
- プリセットシーケンス動作ができるのは、SW-2200 背面部「TO RM-P2200」1番端子に接続されたリモコン (リモコン1) で、モニター1を選択している場合のみです。

プリセットシーケンス動作を開始するには



[オート (標準)] ボタンを押す

[オート (標準)] ランプが点灯し、カテゴリーボタン (6) に登録されているプリセットポジション内のシーケンス動作が始まります。

プリセットポジションが切り換わるたびに、カメラ操作画面のカメラ番号表示部に、表示中のカメラ番号が表示されます。

プリセットシーケンス動作を解除するには



[オート (標準)] ボタンを押す

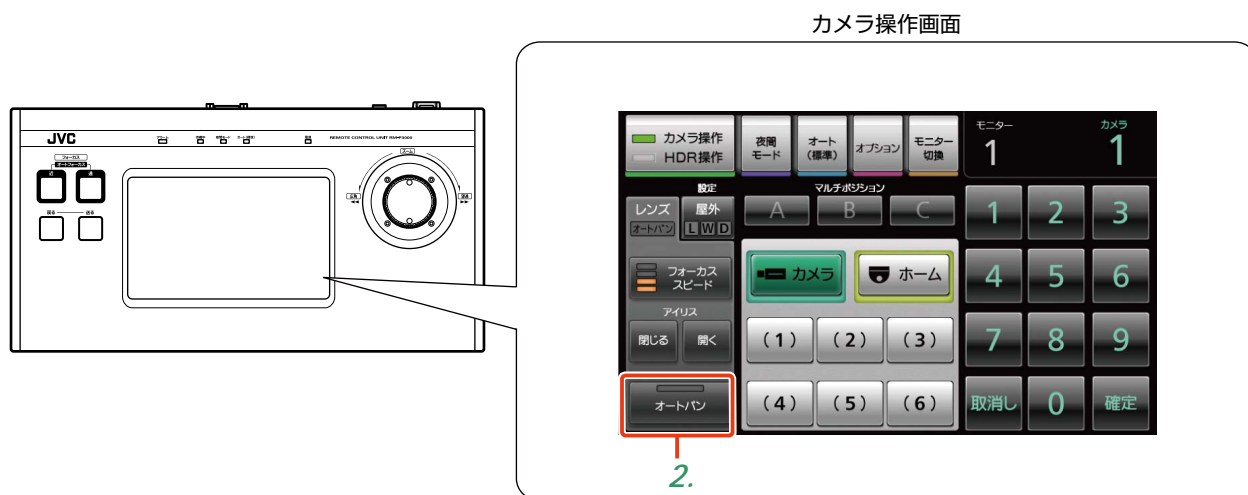
シーケンス動作が解除され、解除したときに選ばれていたポジションの映像を表示します。

操作 (つづき)


■ カメラを水平方向に自動で往復させる (オートパン)

オートパンとは

あらかじめ設定された範囲を、カメラが一定の速度で自動往復します。1台のカメラで広い範囲を見渡すことができます。また、カメラによっては、カメラメニューの設定により一方向に回転させることもできます。



1. 12～13ページの手順で、オートパン設定がされているカメラを選ぶ

2.  **【オートパン】 ボタンを押す**
[オートパン] ボタン / ランプが点灯し、オートパン動作が始まります。

オートパンについてのご注意

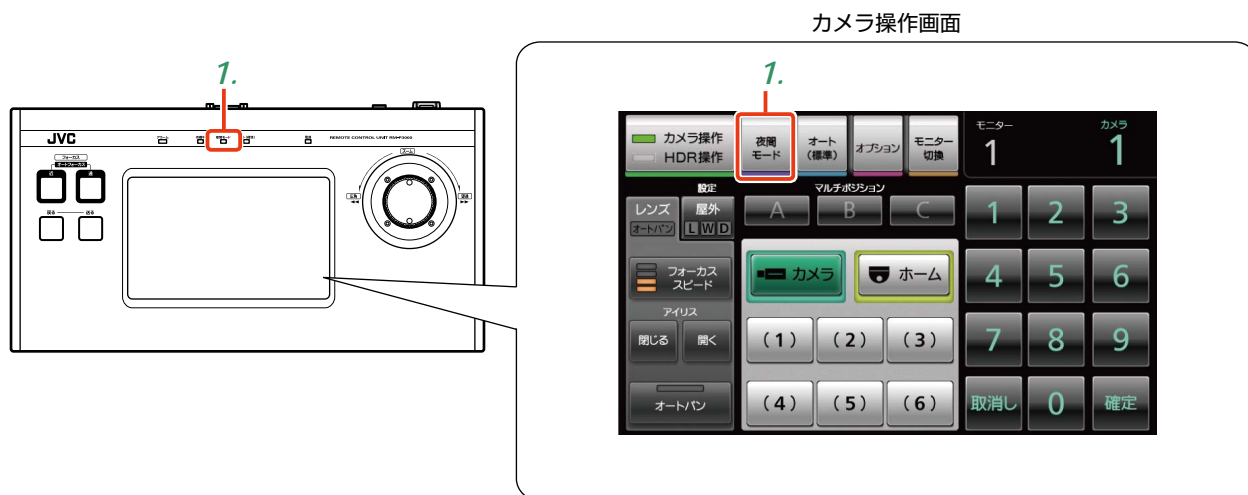
- システム設定の「カメラタイプ / 標準状態設定」(→ 43 ページ) で標準状態が「オートパン」に設定されているときは、オートシーケンス動作中にオートパン動作をします。
- プリセットシーケンス動作中 (→ 24 ページ) は、オートパン動作は行いません。

操作 (つづき)

■ その他の機能

夜間に適した設定で見る (夜間モード)

夜間モードにすると、暗くて見にくい場所に適した高感度撮影モードで映像を映したり、映像内の動きを検知してアラームを通知する“動き検出”機能などを使用することができます。(機能はカメラによって異なります)



1.



【夜間モード】 ボタンを押す

夜間モードに切り換わるまでのあいだ、【夜間モード】ランプが点滅します。
カメラの設定によっては映像を白黒で映したり、“動き検出”を行います。

■ 夜間モードを解除するには

1.



【夜間モード】 ボタンを押す

夜間モードが解除され、【夜間モード】ランプが消灯します。

操作 (つづき)

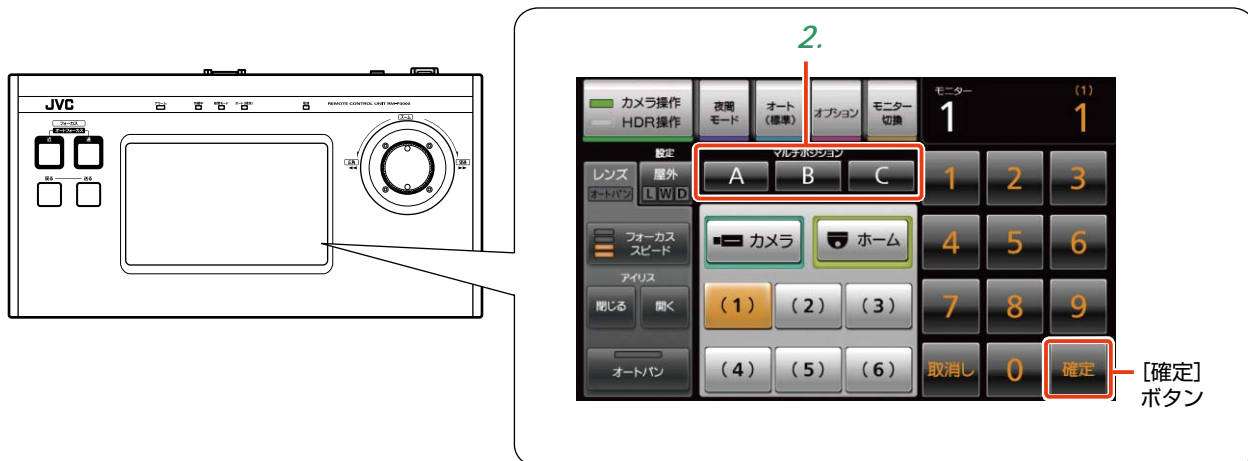
■ その他の機能 (つづき)

様々な角度から見る (マルチポジション)

同じ場所を最大3台のカメラで別々の角度から撮影して、死角をなくすることができます。

- マルチポジション機能を使うには、あらかじめ設定が必要です。[(マルチポジション)B] / [(マルチポジション)C] ボタンが表示されない場合は、選択中のプリセットポジションにマルチポジションが設定されていません。

カメラ操作画面



1.

21 ~ 22 ページの手順で、マルチポジションが設定されているプリセットポジションを選ぶ

選択したプリセットポジションにマルチポジションが設定してあると、[(マルチポジション) B] / [(マルチポジション) C] ボタンが有効になります。
([(マルチポジション) A] ボタンは、ポジション選択時は常に有効です。)

2.



[(マルチポジション) B] / [(マルチポジション) C] ボタンを押す



同じ場所を別の角度から撮影した映像に切り換わります。

■ マルチポジションから操作したカメラを元に戻すには

1.



[確認] ボタンを押す

元のマルチポジションに戻ります。

操作 (つづき)

■ その他の機能 (つづき)

モニターを切り換えて映像を見る

モニターを複数台接続しているときに、映像を映すモニターを切り換えます。

- モニター切り換えを行うには、あらかじめ設定が必要です。モニター切り換えができるのは、SW-2200 背面部「TO RM-P2200」1 番端子に接続されたリモコン (リモコン 1) のみです。



1.



【モニター切り換え】 ボタンを押す

押すごとに映像を映すモニターが切り換わります。

カメラ操作画面のモニター番号表示部に、選択中のモニター番号が表示されます。

(例) モニターが 3 台接続されているとき



操作 (つづき)

その他の機能 (つづき)

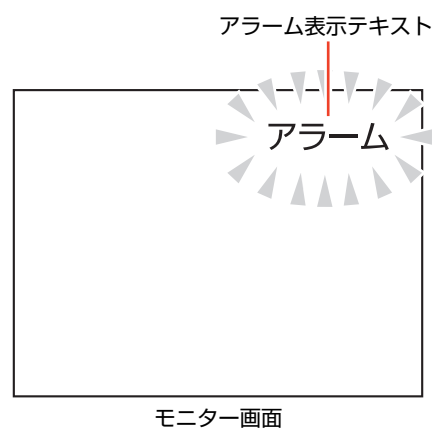
アラーム動作について

アラームが発生すると、アラーム入力のあったカメラの映像に切り換わり、[アラーム] ランプが点灯します。



SW-2200 からアラーム入力があると、システムは以下のようなアラーム動作を行います。

- 映像がアラーム動作中のポジションに切り換わる
- [アラーム] ランプが点灯する
- アラーム表示テキストをモニターに表示する
- ポジション番号表示部に、アラーム動作中のポジション番号を表示する
- アラーム発生時にオート動作（オートシーケンス、プリセットシーケンス、オートパン）中だった場合は、オート動作を一時停止する



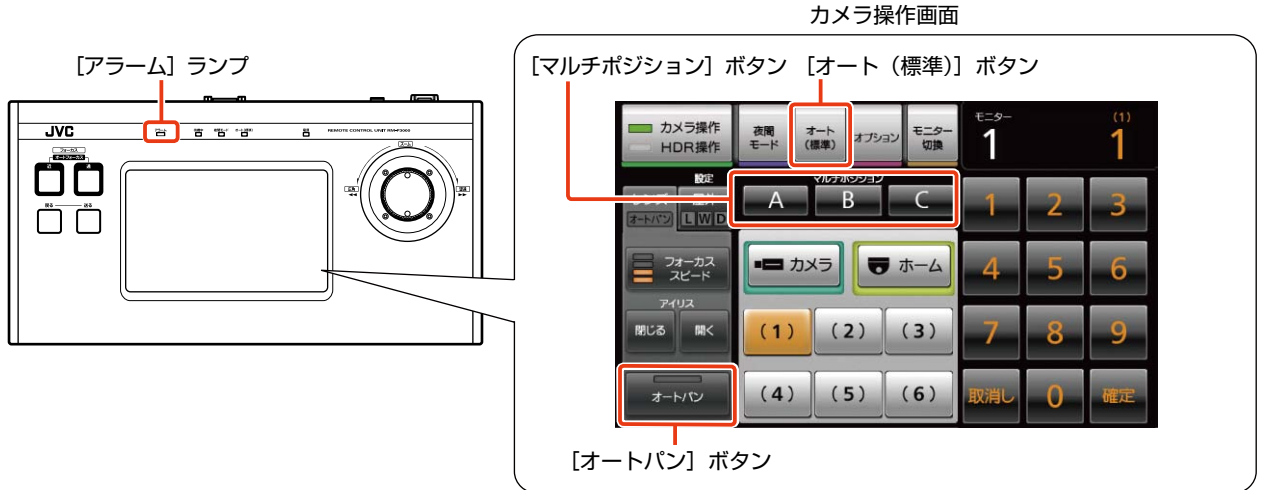
アラーム動作についてのご注意

- アラーム機能を使うには、あらかじめ設定が必要です。
- [メニュー] ボタンが「入」のときは、アラーム機能は働きません。
- アラーム動作中のポジションで、パン / チルトおよびレンズの操作を行うことはできません。
- アラーム動作中は [メニュー] ボタンおよび [本体設定] ボタンは働きません。

操作 (つづき)

その他の機能 (つづき)

アラーム動作を解除する



自動解除

あらかじめ設定した時間 (→ 58 ページ「アラーム戻り時間」) が過ぎると、アラームは自動的に解除されます。アラームが解除されると、システムは以下のような動作を行います。

本機の動作

- ・本機上部の [アラーム] ランプが消灯します。

カメラの動作

- ・あらかじめ設定された標準状態 (ホームポジションまたはオートパン動作) へ戻ります。

モニター映像

- ・アラーム表示テキストの表示を終了します。
- ・アラームを解除したカメラの映像 (アラーム入力時にシーケンス動作中だった場合はシーケンス動作の映像) を表示します。

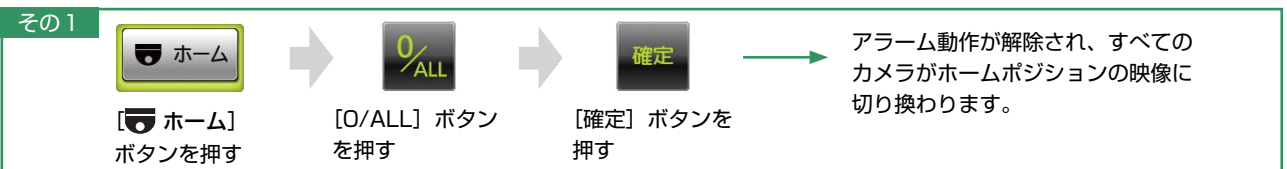
手動解除

下記の方法で、アラーム動作を手動で解除することもできます。(モニター 1 を選択中の場合のみ)

- ・アラーム中のカメラを選択する (→ 12 ~ 13 ページ)
- ・アラーム中のカメラの別のポジションを選択する (→ 21 ~ 22 ページ)
- ・[オート (標準)] ボタンを押す
- ・[オートパン] ボタンを押す
- ・[(マルチポジション) A] / [(マルチポジション) B] / [(マルチポジション) C] ボタンのいずれかを押す
- ・[確定] ボタンを押す

複数のアラームを同時に解除するには (モニター 1 を選択中の場合のみ)

以下の 2 種類の手順で複数のアラームを同時に解除することができます。



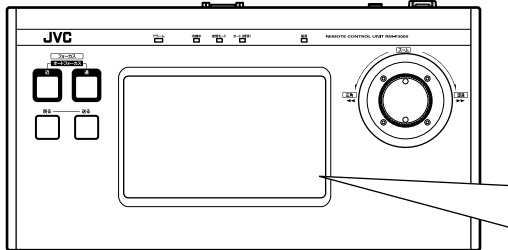
操作 (つづき)

■ その他の機能 (つづき)

ハードディスクレコーダーを操作する

ハードディスクレコーダー (VR-777DX など) を操作して映像を確認することができます。

HDR 操作画面



- モニターを複数台使用した場合、カメラ操作画面でカメラを選択した各モニターの映像と、HDR 操作画面でカメラを選択した各モニターの映像は異なる場合があります。



1. [カメラ操作 /HDR 操作] ボタンを押す

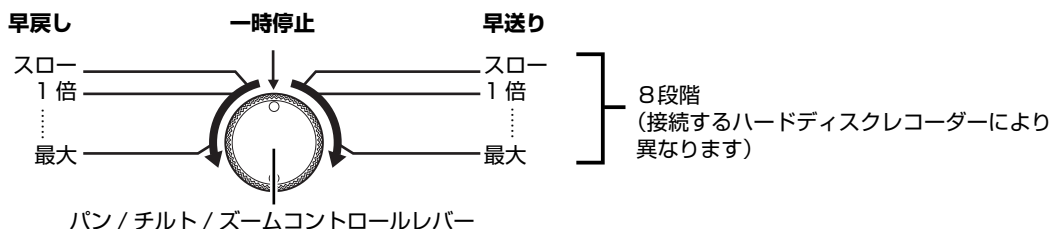
HDR 操作画面が表示され、[HDR 操作] ランプが点灯します。

- SW-2200 を経由せずに、直接カメラをハードディスクレコーダーの VIDEO IN 端子につないだ場合、本機からハードディスクレコーダーの映像を選択することはできません。ハードディスクレコーダーを操作して映像を選択してください。
- SW-2200 を経由せずに直接ハードディスクレコーダーの VIDEO IN 端子につないだカメラにアラーム入力があった場合は、アラーム検索画面からアラーム映像を再生できます。ただし、表示されるカメラ番号は本機でのカメラ番号表示と異なります。

ボタン名	機能
[(表示切換) 単画面]	単画面表示にする
[(表示切換) 分割画面]	分割画面表示にする • EE モード : 4 分割 / 16 分割 • 再生モード : 4 分割 / 16 分割 (機種により異なります)
[(HDR 切換) - (マイナス)]	前のハードディスクレコーダーの最初の番号のカメラ映像に切り換える
[(HDR 切換) + (プラス)]	次のハードディスクレコーダーの最初の番号のカメラ映像に切り換える
[Q 検索]	ハードディスクレコーダーの記録映像を検索する
[決定]	映像の検索結果を決定する
[▶ (再生)]	ハードディスクレコーダーを再生する
[■ (停止)]	ハードディスクレコーダーの再生を停止する
[(一時停止)]	ハードディスクレコーダーの再生を一時停止する
[◀◀ (スキップ - (マイナス))]	ハードディスクレコーダーの再生を、設定されたモードで - (マイナス) 方向へスキップします
[▶▶ (スキップ + (プラス))]	ハードディスクレコーダーの再生を、設定されたモードで + (プラス) 方向へスキップします。

■ 再生映像をサーチするには

ハードディスクレコーダーの映像を再生中にパン / チルト / ズーム コントロールレバーを回転させると、再生映像を確認しながら早戻し / 早送りができます (サーチ)。回転の角度によって、サーチのスピードが変わります。



操作 (つづき)

■ その他の機能 (つづき)

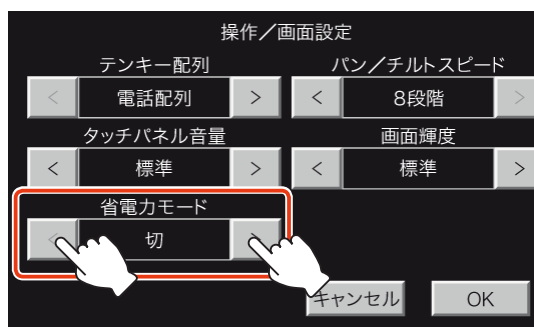
省電力モードを設定する

本機を一定の時間操作しなかったときに、液晶パネルのバックライトを自動的に切ることができます。

1. 「省電力モード」を「切」以外に設定する (→ 33 ~ 34 ページ「設定の流れ」)

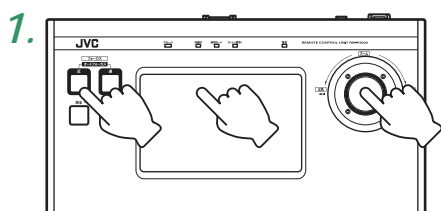
一定の時間本機を操作しないと省電力モードに入るように設定します。省電力モードに入るまでの時間は選ぶことができます。(→ 36 ページ)

省電力モードに入ると、液晶パネルのバックライトが消灯し、[待機中]ランプがゆっくり点滅します。



操作 / 画面設定

■ 省電力モードを解除するには



1. フロントパネル上のボタンや液晶パネル、またはパン / チルト / ズーム コントロールレバーを操作する

省電力モードが解除され、バックライトが点灯します。

操作 (つづき)

■ 本体の設定を変更する

ご使用環境に合わせて、本体の操作や画面についての設定を変更します。
以下のことを設定することができます。

- テンキーの配列を変更する (→ 35 ページ)
- 操作音の音量を調節する (→ 35 ページ)
- 省電力モードに入るまでの時間を変更する (→ 36 ページ)
- パン / チルトの速さを調節する (→ 36 ページ)
- 画面の明るさを調節する (→ 36 ページ)
- タッチパネルを調整する (→ 37 ページ)

(「カテゴリ名称設定」については 62 ページ、「COM 端子通信設定」については、63 ページをご覧ください)

設定の流れ

1. [屋外] タブの [本体設定] ボタンを押す

「本体設定」画面が表示されます。本機上部の [電源] ランプ以外のランプが消灯します。

[屋外] タブ [本体設定] ボタン

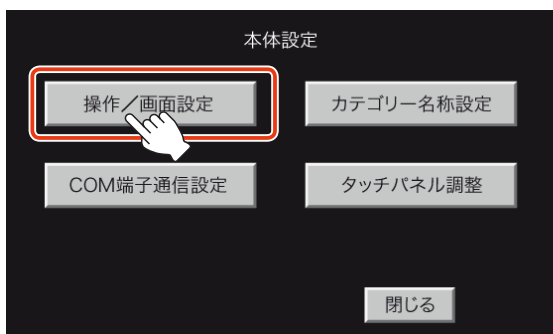


ご注意

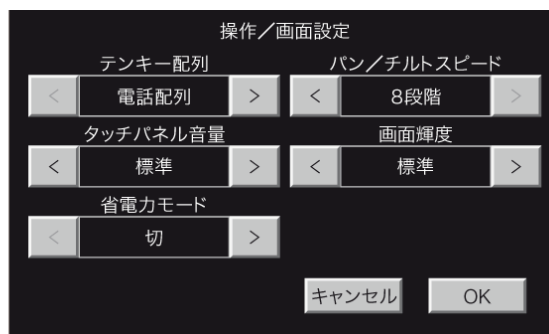
[メニュー] ボタンが「入」のときや、キーロック中またはアラーム動作中は、[本体設定] ボタンは働きません。メニューを終了するか、キーロックやアラームの解除をしてから本体設定を行なってください。

2. 設定したい項目のボタンを押す (例: [操作 / 画面設定] ボタンを押した場合)

設定画面が表示されます。



本体設定



例: 操作 / 画面設定

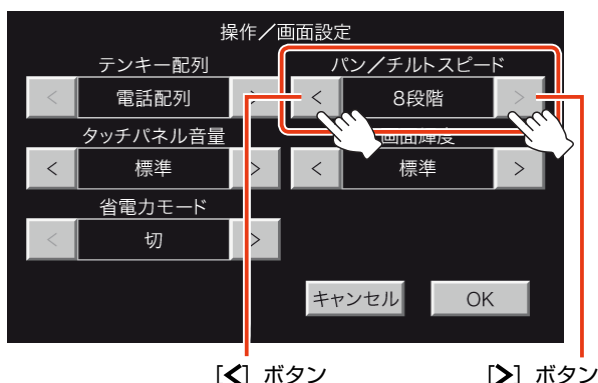
操作 (つづき)

■ 本体の設定を変更する (つづき)

設定の流れ (つづき)

3. 設定したい項目の [<] ボタンまたは [>] ボタンを押して、設定値を変更する

(例) 「パン/チルトスピード」を設定するとき

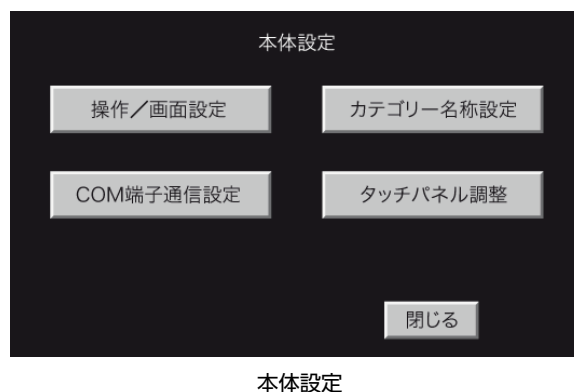
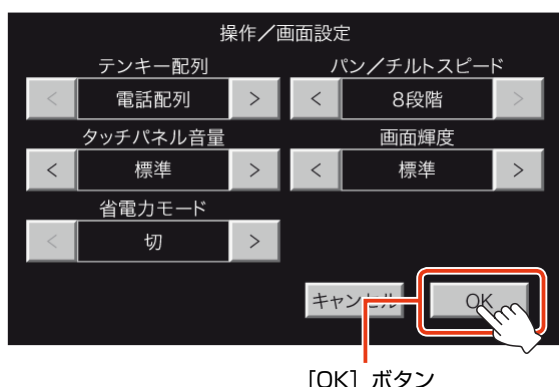


- それ以上選択できる項目がないときは、[<] ボタンまたは [>] ボタンがグレーで表示されます。



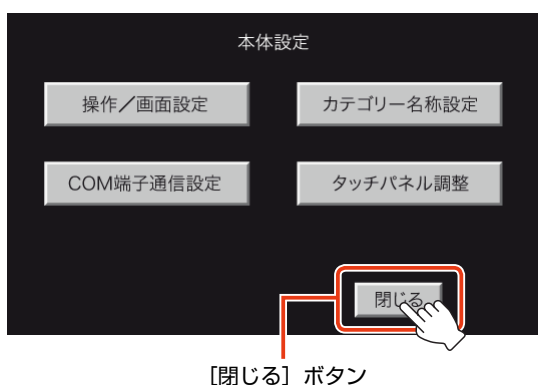
4. [OK] ボタンを押す

設定画面が終了し、「本体設定」画面に戻ります。



5. [閉じる] ボタンを押す

「本体設定」画面が終了し、カメラ操作画面に戻ります。

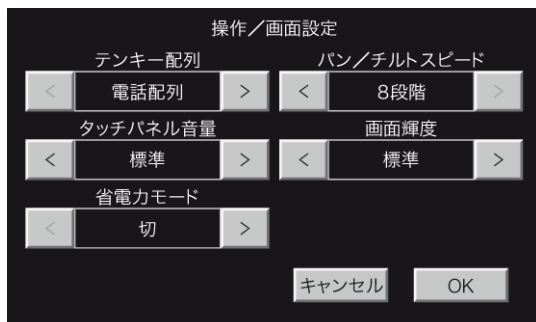


操作 (つづき)

■ 本体の設定を変更する (つづき)

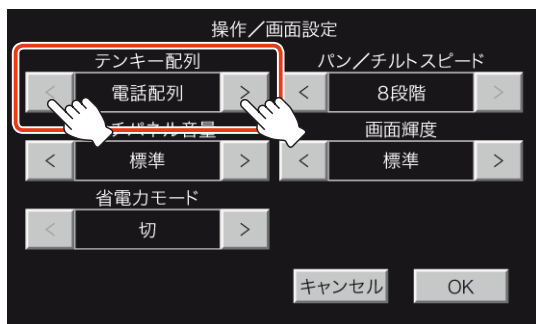
操作 / 画面設定

33 ~ 34 ページの手順で、設定画面を表示させます。



操作 / 画面設定

テンキーの配列を変更する



操作 / 画面設定

「テンキー配列」の [<] ボタンまたは [>] ボタンを押して、設定値を変更します。

選択できる項目 (初期値)

電話配列、電卓配列

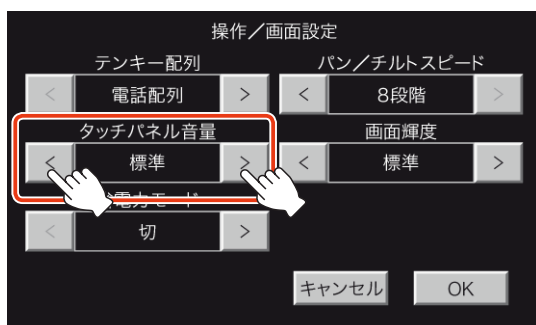


電話配列



電卓配列

操作音の音量を調節する



操作 / 画面設定

「タッチパネル音量」の [<] ボタンまたは [>] ボタンを押して、設定値を変更します。

選択できる項目 (初期値)

切、小、標準、大

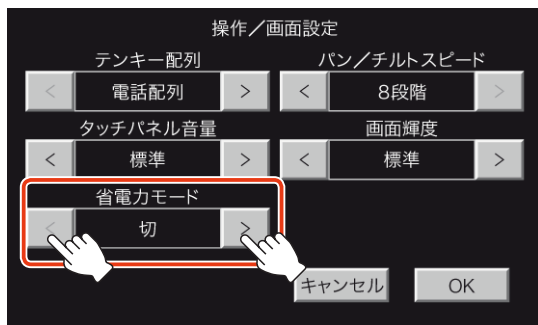
- タッチパネルの操作音の他に、メッセージ表示時の警告音など本機から鳴るすべての音が調節されます。

操作 (つづき)

■ 本体の設定を変更する (つづき)

省電力モードに入るまでの時間を変更する

本機を一定の時間操作しないと、自動的に省電力モードに入ります。(→ 32 ページ)
ここでは、省電力モードに入るまでの時間を変更します。



操作 / 画面設定

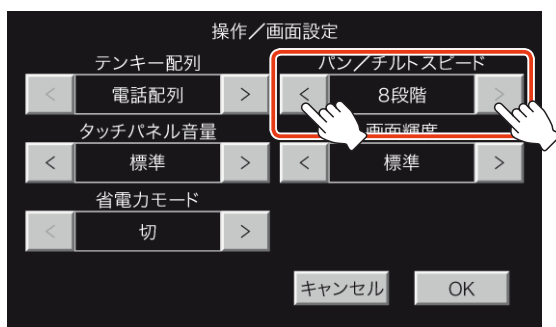
「省電力モード」の [<] ボタンまたは [>] ボタンを押して、設定値を変更します。

選択できる項目 (初期値)
切、5分、10分、15分、20分、30分

ご注意

- 次の場合は省電力モードに入りません。
メニュー操作中 (リモコン1のみ)、本体設定中、液晶パネルにメッセージが出ているとき (→ 66 ページ)、アラーム動作中
- 次の場合は省電力モードが解除されます。
SW-2200 の電源を入れなおしたとき、アラームが発生したとき

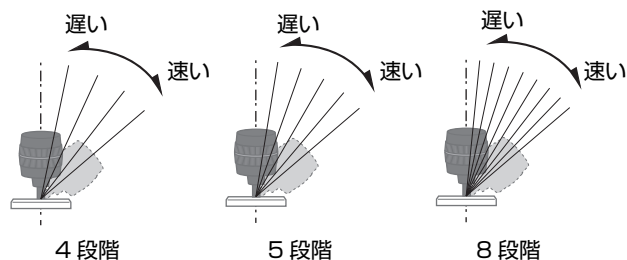
パン / チルトの速さを調節する



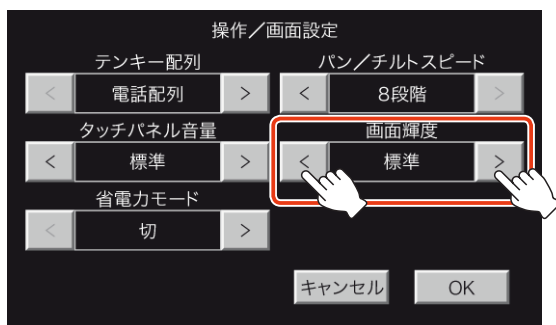
操作 / 画面設定

「パン/チルトスピード」の [<] ボタンまたは [>] ボタンを押して、設定値を変更します。

選択できる項目 (初期値)
4段階 (遅め)、4段階 (速め)、5段階、8段階



画面の明るさを調節する



操作 / 画面設定

「画面輝度」の [<] ボタンまたは [>] ボタンを押して、設定値を変更します。

選択できる項目 (初期値)
暗い、標準、明るい

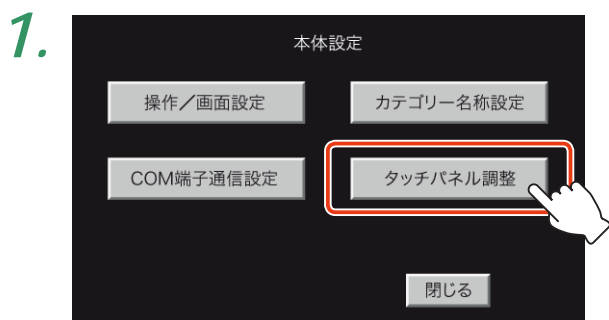
操作 (つづき)

■ 本体の設定を変更する (つづき)

タッチパネルの調整

液晶パネルのボタンの位置と、実際に液晶パネルにタッチした位置とのあいだにずれがある場合などに、タッチパネルを調整してずれをなくします。

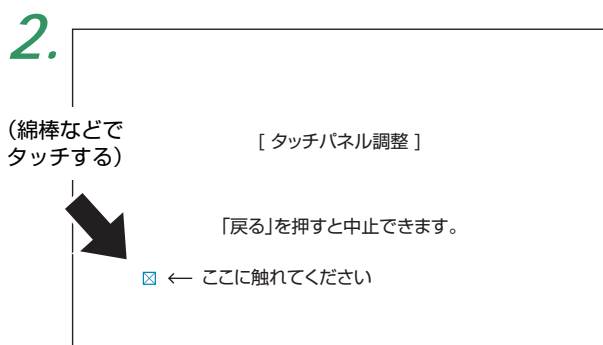
タッチパネルを調整する



本体設定

33 ページの手順で、[タッチパネル調整] ボタンを押す

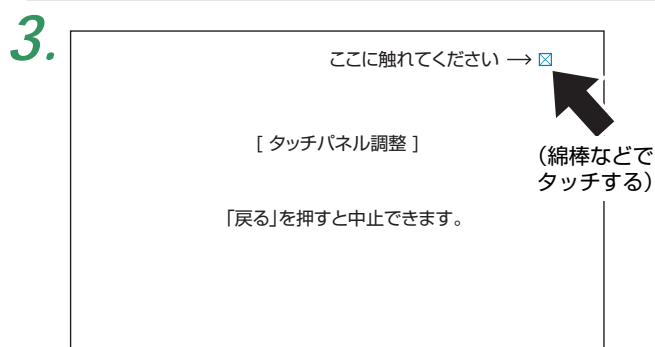
「タッチパネル調整」画面が表示されます。



タッチパネル調整

画面上の青い四角の中心を、先のとがっていないもの(綿棒など)でタッチする

次の「タッチパネル調整」画面に切り換わり、青い四角の位置が移動します。



タッチパネル調整

手順 2 をくり返し行う

タッチパネル位置が自動的に調整され、「本体設定」画面に戻ります。

- 正しく調整されなかった場合は「調整値が異常です。再度調整してください。」と表示されます。もう一度はじめてから調整を行ってください。
- 調整を途中で終了したいときは、[戻る] ボタンを押します。「タッチパネル調整」画面を終了し、「本体設定」画面に戻ります。

設定

設定の流れ

システムをはじめて組んだときや、カメラを新たに追加したときなどは、以下の要領で設定してください。設定後は必ず動作確認を行なってください。

1 システム構成

システム構成に合わせて設定を行います。

通常メニュー

システム設定..
⋮
⋮

・アラーム制御パターン
・SW-2200使用台数
・リモコン1使用モニター台数
・カメラタイプ/標準状態設定..
⋮

2 シーケンス動作

シーケンス動作の設定を行います。モニター1のみ、表示する内容が異なります。

通常メニュー

システム設定..
⋮
⋮

⋮
・モニター出力設定..
⋮

3 カメラタイトル

カメラの映像に、文字情報を表示させます。

通常メニュー

⋮
カメラメニュー設定..
⋮

・カメラタイトル/アラーム..
⋮

カメラのメニューは、接続したカメラごとに異なります。詳しくは、カメラの取扱説明書をご覧ください。

4 ホームポジション

各カメラの基準となる撮影位置を設定します。

通常メニュー

⋮
ホームポジション設定..
⋮

・ユニット端子番号
・映像設定..

5 プリセットポジション

特定の位置の映像を表示させるために、カメラの画角を複数設定し保存します。

通常メニュー

⋮
プリセットポジション設定..
⋮

・カテゴリー
・ポジションタイトル設定..
・番号モード
・登録..
⋮

6 マルチポジション

特定の位置について、最大3台のカメラで捉えることができます。

通常メニュー

⋮
プリセットポジション設定..
⋮

⋮
・登録..
⋮

7 アラーム

アラーム時の動作について設定します。

通常メニュー

⋮
カメラメニュー設定..
⋮

・カメラタイトル/アラーム..
⋮

カメラのメニューは、接続したカメラごとに異なります。詳しくは、カメラの取扱説明書をご覧ください。

通常メニュー

⋮
アラーム設定..
⋮

・優先モード
・アラーム戻り時間

アラームメニュー

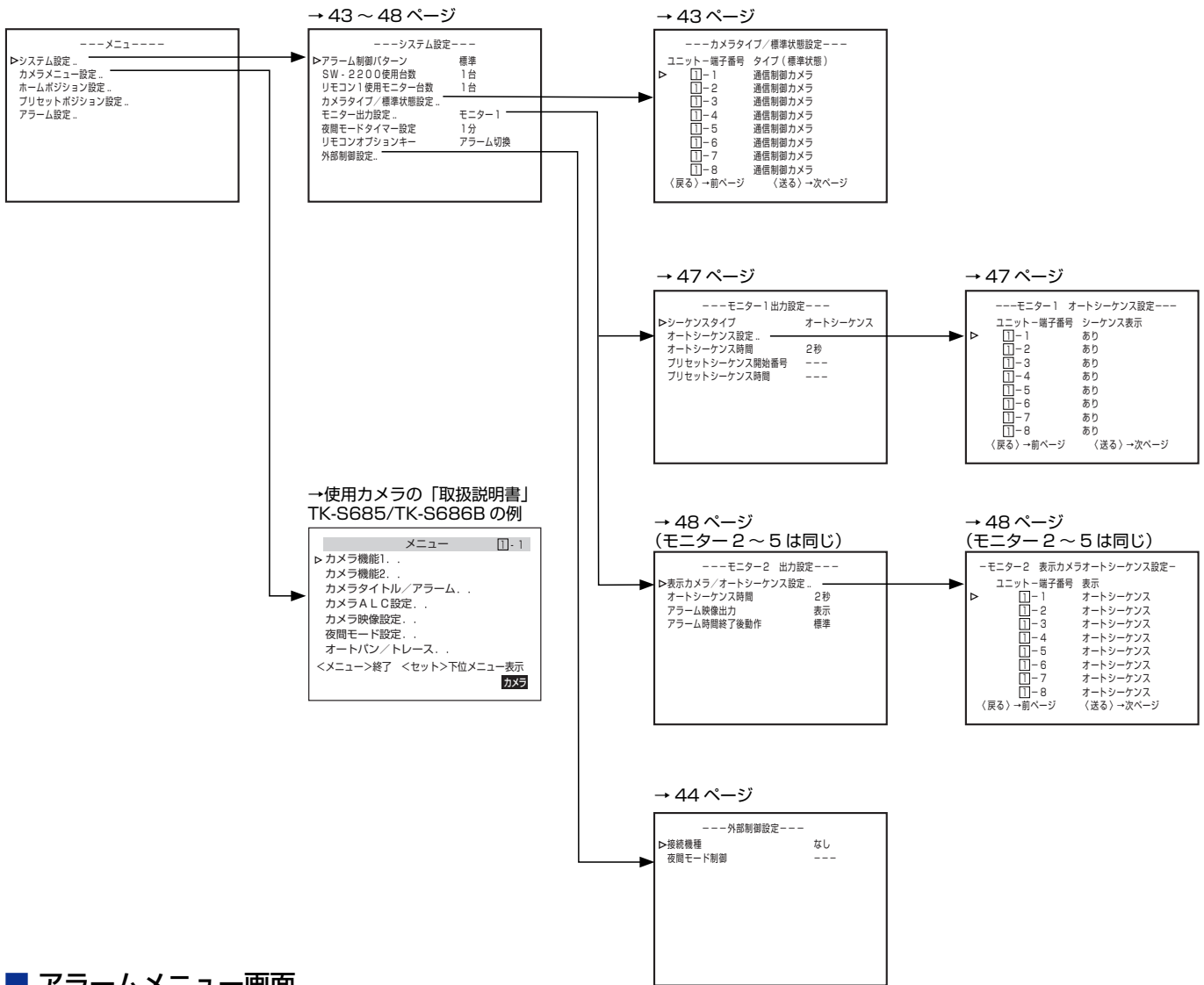
・非アラーム制御カメラ設定..
・特定アラーム制御種別設定..

メニュー画面の流れ

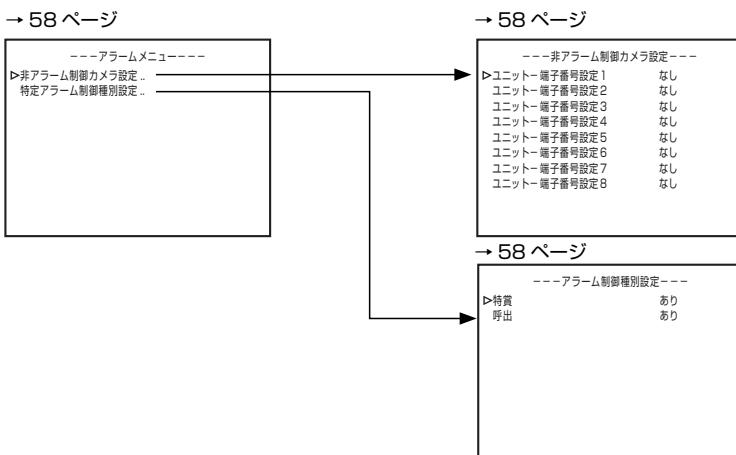
メニュー画面には、通常メニューとアラームメニューがあります。それぞれの画面の流れは、下図の通りです。

・メニューの操作については、41 ページをご覧ください。設定の詳細については、43 ページ以降をご覧ください。

通常メニュー画面



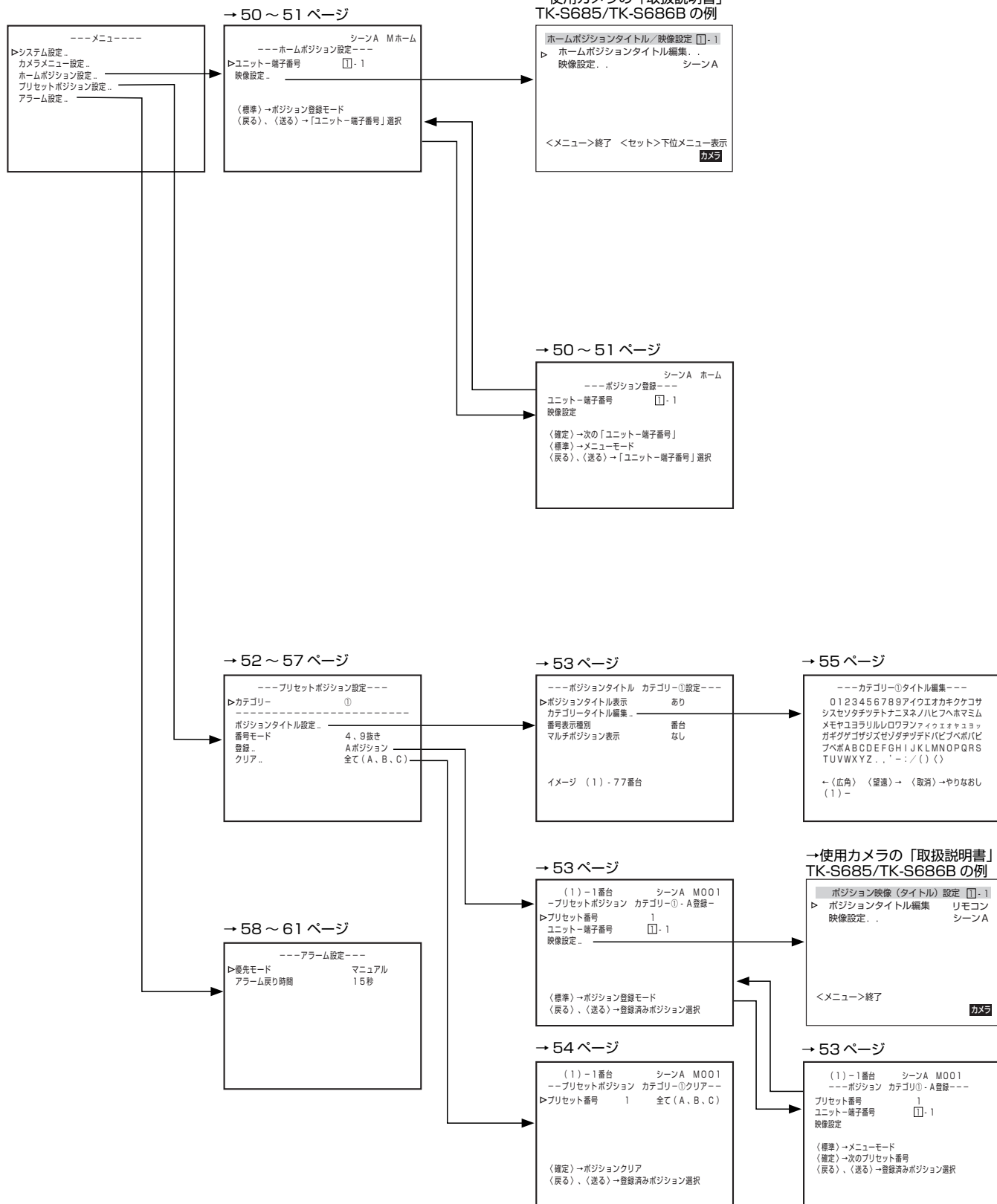
アラームメニュー画面



設定 (つづき)

メニュー画面の流れ (つづき)

通常メニュー画面 (つづき)



メニュー画面の基本操作

ここでは、メニュー画面の操作方法を説明します。設定の詳細については、43 ページ以降をご覧ください。

メニュー画面を表示する

メニュー画面の表示には、パスワードの入力が必要です。

1. 本体ディスプレイの [屋外] タブを表示させる

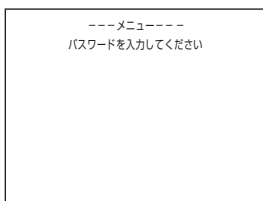


2. [メニュー] ボタンを 2 秒以上押しつづける

[メニュー] ボタンが点灯し、パスワード入力画面がモニターに表示されます。



2 秒以上



パスワード入力画面

- パスワード入力画面表示中に、[メニュー] ボタンを押すと入力画面が消え、通常の状態に戻ります。

3. パスワードを入力する

通常メニュー画面を表示させるときは、[2] を 4 回押して「2222」と入力します。

アラームメニュー画面を表示させるときは、[3] を 4 回押して「3333」と入力します。

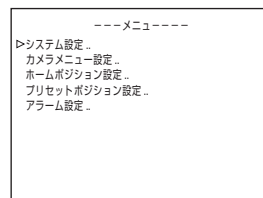
表示部には、「****」と表示されます。



- アラームメニュー画面について詳しくは、58 ページをご覧ください。

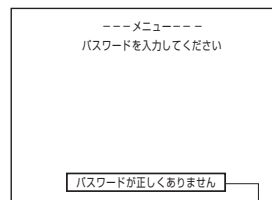
4. [確定] ボタンを押す

入力したパスワードに応じて、通常メニュー画面またはアラームメニュー画面が表示されます。



通常メニュー画面

- 次の画面が表示された場合は、パスワードが正しく入力されていません。



3 秒間表示

- 画面が表示されてから 3 秒経過すると手順 1 に戻ります。
正しいパスワードを入力し直してください。

メモ

- メニュー画面の操作は、SW-2200 背面部「TO RM-P2200」1 番端子に接続されたリモコン (リモコン 1) で、モニター 1 を選択して行ってください。メニュー画面は、SW-2200 背面部「MONITOR OUTPUT1」端子に接続されたモニター (モニター 1) に表示されます。
- 本機 (リモコン 1) からメニュー画面を操作しているときは、本機以外のリモコン 2 ~ 5 では [待機中] ランプが点灯し、操作できません。
- メニュー画面の操作中は、アラーム入力を受けつけません。

設定 (つづき)

■ メニュー画面の基本操作 (つづき)

メニュー画面を終了する

1. メニュー画面の表示中に [メニュー] ボタンをくりかえし押す

[メニュー] ランプが消灯するまで、[メニュー] ボタンを押します。



- ボタンを押すごとに、一つ前の画面に戻ります。

サブメニューを表示させる

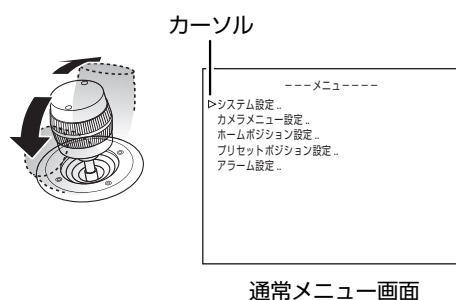
1. [セット] ボタンを押す



- サブメニューのある項目では、サブメニューが表示されます。

項目を選ぶ

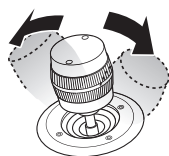
1. パン/チルト/ズーム コントロールレバーを上下に動かし、カーソル (▷) を項目に合わせる



- メニュー名の後ろに「..」表示がある項目には、サブメニューがあります。

設定値を変更する

1. パン/チルト/ズーム コントロールレバーを左右に動かす



システム設定

●は工場出荷時の値です。

項目	設定値	内容
アラーム制御パターン	<ul style="list-style-type: none"> ● 標準 一斉 (モニターなし) 一斉 (モニター 2 台) 一斉 (モニター 3 台) 補完 (モニターなし) 補完 (モニター 2 台) 補完 (モニター 3 台) 	<p>マルチポジション設定されたカメラの、アラーム時の動作を設定します。</p> <p>標準 : アラームが連続したとき、後から入ったアラームの映像に切り換わります。(→ 29 ページ「アラーム動作について」)</p> <p>一斉 : アラーム時に、最大 3 台のカメラが同一ポジション映像に、一斉に切り換わります。</p> <p>補完 : アラームが連続したとき、別のカメラが後から入ったアラームの映像に切り換わります。</p> <p>(モニターなし、2 台、3 台について) アラームが連続したときに、アラームの映像が表示されるモニターについて設定します。</p> <p>モニターなし : モニター 1 にだけアラームの映像が表示されます。</p> <p>モニター 2 台 : モニター 2、モニター 3 の順にアラームの映像が表示されます。</p> <p>モニター 3 台 : モニター 2、モニター 3、モニター 4 の順にアラームの映像が表示されます。</p> <p>(→ 27 ページ「様々な角度から見る (マルチポジション)」、→ 60 ページ「アラーム制御パターンについて」、→ 52 ページ「プリセットポジション設定」)</p>
SW-2200 使用台数	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 台 2 台 3 台 4 台 5 台 	<p>システムで使用する SW-2200 の台数を設定します。</p> <p>設定を誤ると、カメラを正しく選択できません。</p>
リモコン 1 使用モニター台数	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 台 2 台 3 台 4 台 5 台 	<p>SW-2200 背面部「TO RM-P2200」1 番端子に接続されたリモコン (リモコン 1) で制御するモニターの台数を設定します。</p> <p>3 台に設定すると、モニター 1、2、3 の制御を行うことができ、モニター 4、5 は制御できません。設定を誤るとモニターを制御できない場合があります。(→ 46 ページ「モニターの切り換え」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設定値が「--」となって変更できないときは、「アラーム制御パターン」の設定を「標準」「一斉 (モニターなし)」「補完 (モニターなし)」のいずれかに変更してください。
カメラタイプ / 標準状態設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信制御カメラ 通信制御カメラ (オートパン) 非通信制御カメラ リレーボックス リレーボックス (オートパン) 接続なし 	<p>カメラ入力端子に接続されるカメラのタイプを設定します。</p> <p>また、オート (標準) 時にオートパンするかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ すべてのカメラについて設定が必要です。 ・ TK-S685、TK-S686B は通信制御カメラです。 ・ カメラの指定は、ユニット番号と端子番号で行います。例えば、3 台目の SW-2200 の「CAMERA INPUT」の 10 番端子に接続したカメラは「3-10」と指定します。 <p>■カメラタイプ / 標準状態設定画面</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">---カメラタイプ / 標準状態設定---</p> <p style="text-align: center;">ユニット-端子番号 タイプ (標準状態)</p> <p>▶ <input type="checkbox"/> 1 通信制御カメラ</p> <p><input type="checkbox"/> 2 通信制御カメラ</p> <p><input type="checkbox"/> 3 通信制御カメラ</p> <p><input type="checkbox"/> 4 通信制御カメラ</p> <p><input type="checkbox"/> 5 通信制御カメラ</p> <p><input type="checkbox"/> 6 通信制御カメラ</p> <p><input type="checkbox"/> 7 通信制御カメラ</p> <p><input type="checkbox"/> 8 通信制御カメラ</p> <p style="text-align: center;">(戻る) → 前ページ (送る) → 次ページ</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ カメラタイプ / 標準状態設定画面は複数ページで構成され、最大ページ数は接続された SW-2200 の台数によって異なります。

設定 (つづき)

■ システム設定 (つづき)

●は工場出荷時の値です。

項目	設定値	内容
カメラタイプ / 標準状態設定 (つづき)		<p>通信制御カメラ: 同軸多重通信制御ができるカメラ (コンビネーションカメラなど) で、オート (標準) 時に、ホームポジションに設定します。</p> <p>通信制御カメラ (オートパン): 同軸多重通信制御ができるカメラ (コンビネーションカメラなど) で、オート (標準) 時に、オートパンに設定します。オートパン機能がないカメラでは、機能しません。</p> <p>非通信制御カメラ: 同軸多重通信制御しないカメラの場合に設定します。</p> <p>リレーボックス: 同軸多重通信制御するリレーボックス (RB-5129) で、オート (標準) 時に、オートパン OFF に設定します。</p> <p>リレーボックス (オートパン): 同軸多重通信制御するリレーボックス (RB-5129、シリアルナンバーの下4ケタが0470以降に限る) でオート (標準) 時に、オートパンに設定します。</p> <p>接続なし: 端子にカメラを接続しないときに設定します。この設定にすると、手動選択も、オートシーケンス時の選択も行えません。また、すべてのカメラを「接続なし」に設定することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> リレーボックスの電源を入れ直した場合、リモコンの各表示灯が点灯したまま、動作中のオートパン、照明、ワイパーおよびデフロスターはすべて「OFF」になります。この場合は、該当するボタンを押して表示灯を消灯させて、再びボタンを押して「ON」にしてください。
モニター出力設定	<ul style="list-style-type: none"> ●モニター1 モニター2 モニター3 モニター4 モニター5 	<p>モニター1～5のオート (標準) 時の動作などを、モニターごとに設定します。サブメニューは、47～48ページをご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> モニター1と、モニター2～5の設定項目は異なります。
夜間モードタイマー設定	<ul style="list-style-type: none"> なし ●1分 2分 	<p>夜間モード (強制白黒切換、強制モーションディテクトなど) を「ON」にしたとき、夜間モードに切り換わるまでの時間を設定します。夜間モードの設定内容は、カメラ側のメニューで行います。タイマー作動中は [夜間モード] ランプが点滅します。(→26ページ「夜間モード」)</p>
リモコンオプションキー	<ul style="list-style-type: none"> ●アラーム切換 割当なし 	<p>[オプション] ボタンの機能を切り換えます。</p> <p>アラーム切換: アラームが複数入っているときに、アラームの映像を切り換えて、モニターに表示します。</p> <p>割当なし: [オプション] ボタンを使用しないときに選びます。</p>
外部制御設定		[HDR 操作] が選ばれているときに制御する接続機種等を設定します。
	<p>接続機種</p> <ul style="list-style-type: none"> ●なし VR-777 	AUX 端子 (RS-232C) に接続し、制御する機種を選択します。
	<p>夜間モード制御</p> <ul style="list-style-type: none"> ●タイマー連動あり タイマー連動なし 	<p>接続機種を「VR-777」に設定したとき、SW-2200の [夜間モード] ボタン制御にハードディスクレコーダーのタイマーモード制御を連動させるかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「接続機種」を「なし」に設定したときは「---」と表示され、設定できません。

設定 (つづき)

■ システム設定 (つづき)

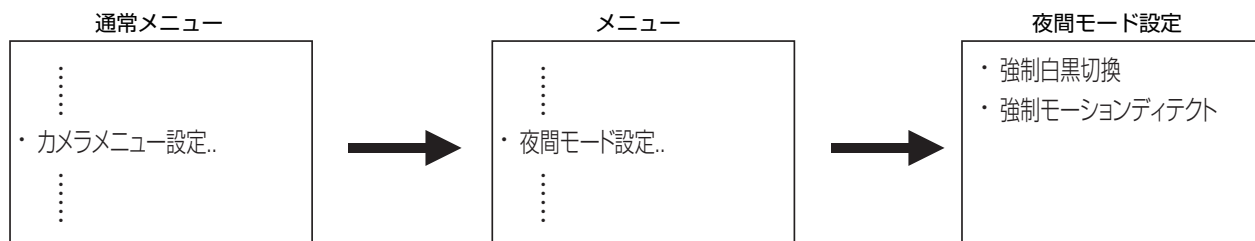
夜間モードの設定について

夜間モードの設定はカメラ側のメニューで行います。メニューは接続するカメラの種類によって異なります。

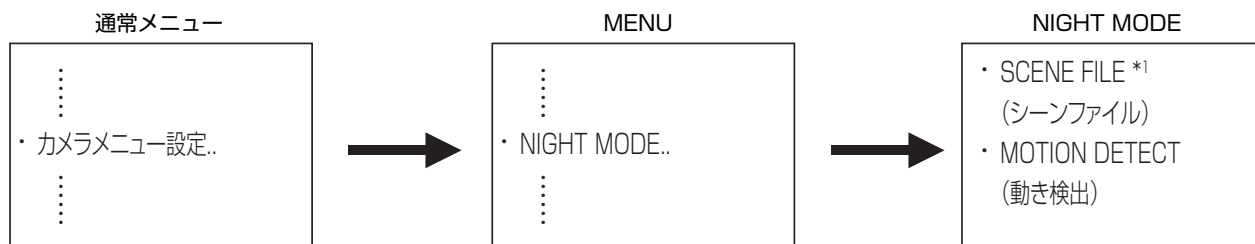
各カメラの夜間モード設定の項目

詳細は各カメラの取扱説明書をご覧ください。

■ TK-S685 / TK-S686B / TK-S686WPB の場合



■ TK-S9400 / TK-S8401 / TK-S8401WP / TK-S2401 / TK-S2402 / TK-S2401WP の場合



*1 通常モード時と夜間モード時のそれぞれで、撮影シーンに適したシーンファイルを設定することができます。

設定 (つづき)

■ システム設定 (つづき)

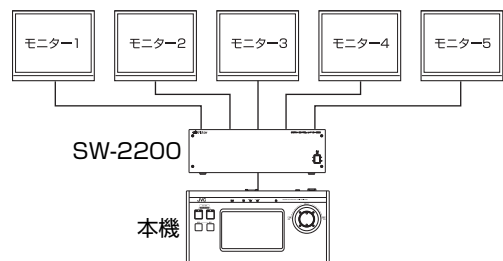
モニターの切り換え

[モニター切換] ボタンで、映像を表示するモニターを選択することができます。ボタンを押すごとにモニターが切り換わり、モニター番号表示部に選択中のモニター番号が表示されます。

(モニター番号は SW-2200 背面部の「MONITOR OUTPUT」端子番号に対応しています)

■ RM-P3000 1 台と複数台 (最大 5 台) のモニターが接続されたシステムの場合

操作できるモニター出力の番号が表示されます。



[オート(標準)] ボタン [モニター切換] ボタン モニター番号表示部



• [オート (標準)] ボタン

[オート (標準)] ボタンでのオートシーケンスの ON/OFF は、選択されたモニターにのみ有効で、他のモニターで ON/OFF することはできません。

• カメラの選択

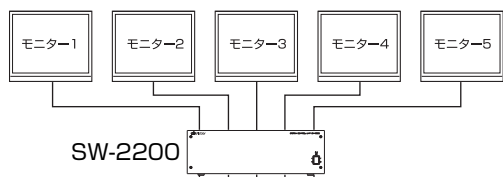
選択できるカメラは各モニターごとに設定できます。設定は、モニター出力ごとに「表示カメラ / オートシーケンス設定」(→ 48 ページ)で行います。ただし、モニター 1 はマスターモニターのため、オートシーケンスは表示の「あり」、「なし」は選択できますがカメラ選択の「あり」、「なし」は設定できません。

• リモコン 1

リモコン 1 で選択できるモニターは、システム設定画面の「リモコン 1 使用モニター台数」で設定します。(→ 43 ページ)

■ RM-P3000 5 台と複数台 (最大 5 台) のモニターが接続されたシステムの場合

リモコンとモニターは 1 対 1 で対応しています。(モニター 2 を制御できるのはリモコン 2、モニター 3 を制御できるのはリモコン 3...) ただし、リモコン 1 のみシステム設定「リモコン 1 使用モニター台数」項目の設定 (→ 43 ページ) により、複数のモニターを制御することができます。リモコンとモニターを複数台接続する場合、「リモコン 1 使用モニター台数」の設定 (→ 43 ページ) を「1 台」以外に設定すると、モニターを制御できないリモコンの画面上部に「システムコントロールユニットの接続端子が正しくありません。」と表示されます。



リモコン 1 リモコン 2 リモコン 3 リモコン 4 リモコン 5

※各リモコンのモニター切換ボタンを押している間、操作可能なモニター番号が表示されます。

メモ

複数のリモコンで同時に操作を行うと、通信制御カメラなどの動作が一時的に遅くなることがありますが、故障ではありません。

• リモコン 1 (SW-2200 背面端子 1 に接続)

上図のリモコン 1 台のシステムと同様に、すべてのモニター出力操作が行えます。操作できるモニターは、システム設定画面の「リモコン 1 使用モニター台数」で設定します。(→ 43 ページ)

• リモコン 2 (SW-2200 背面端子 2 に接続)

モニター 2 の操作のみ行えます。

• リモコン 3 (SW-2200 背面端子 3 に接続)

モニター 3 の操作のみ行えます。

• リモコン 4 (SW-2200 背面端子 4 に接続)

モニター 4 の操作のみ行えます。

• リモコン 5 (SW-2200 背面端子 5 に接続)

モニター 5 の操作のみ行えます。

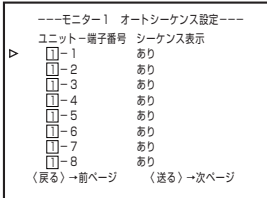
設定 (つづき)

■ システム設定 (つづき)

サブメニュー：「モニター 1 の出力設定」

モニター 1 についての設定を行います。

●は工場出荷時の値です。

項目	設定値	内容
シーケンスタイプ	●オートシーケンス プリセットシーケンス	<p>[オート (標準)] ボタンを押して開始するシーケンスの種類を選びます。</p> <p>オートシーケンス : 一定時間間隔で、カメラのホームポジション映像を切り換えて表示します。</p> <p>プリセットシーケンス: 一定時間間隔で、カテゴリ⑥のプリセットポジション (A ポジション) に設定されているカメラの映像を切り換えて表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> カテゴリ⑥にプリセットポジションが設定されていないと、カメラの映像は切り換わりません。
オートシーケンス設定	●あり なし	<p>「オートシーケンス」で表示するカメラを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのカメラについて設定が必要です。 「シーケンスタイプ」が、「プリセットシーケンス」に設定されている場合、選択できません。 「なし」に設定されたカメラは、オートシーケンス中、映像は表示されません。 「なし」に設定されたカメラでも、手動による操作は可能です。 すべてのカメラを「なし」に設定した場合、カメラの映像は切り換わりません。 <p>カメラの指定は、ユニット番号と端子番号で行います。例えば、3 台目の SW-2200 の「CAMERA INPUT」の 10 番端子に接続したカメラは「[3]-10」と指定します。</p> <p>「カメラタイプ / 標準状態設定」項目で、「接続なし」に設定された端子番号は「- - -」と表示され、選択できません。</p> <p>■オートシーケンス設定画面</p>  <ul style="list-style-type: none"> オートシーケンス設定画面は複数ページで構成され、最大ページ数は接続された SW-2200 の台数によって異なります。
オートシーケンス時間	1 秒～ 30 秒 ● 2 秒	<p>オートシーケンス中のカメラの切換時間を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「シーケンスタイプ」が、「プリセットシーケンス」に設定されている場合は、「- - -」と表示され、選択できません。
プリセットシーケンス 開始番号	●ポジション⑥-1 } ポジション⑥-100	<p>プリセットシーケンスの開始ポジションを設定します。設定値よりも前のポジションは、プリセットシーケンス中表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「シーケンスタイプ」が、「オートシーケンス」に設定されている場合、「- - -」と表示され、選択できません。 プリセットポジションが未登録でも表示されます。
プリセットシーケンス 時間	● 10 秒 15 秒 20 秒 25 秒 30 秒	<p>プリセットシーケンス中のポジションの切換時間を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「シーケンスタイプ」が、「オートシーケンス」に設定されている場合は、「- - -」と表示され、選択できません。

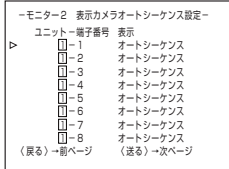
設定 (つづき)

■ システム設定 (つづき)

サブメニュー：「モニター 2 ～ 5 の出力設定」

設定は、モニターごと (モニター 2 ～ 5) に行います。

●は工場出荷時の値です。

項目	設定値	内容
表示カメラ / オートシーケンス設定	●オートシーケンス カメラ選択のみ なし	<p>それぞれのモニターで、表示するカメラの手動選択 / シーケンス動作の設定をします。</p> <p>オートシーケンス : 一定時間間隔で、カメラのホームポジション映像を切り換えて表示します。または、カメラを手動選択して映像を表示します。</p> <p>カメラ選択のみ : カメラを手動選択して映像を表示します。</p> <p>なし : モニターに映像を表示しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのカメラについて設定が必要です。 「オートシーケンス」がまったく設定されていない場合は、オートシーケンス動作になっても該当のモニターは変化せず、アラーム動作後もモニターは切り換わりません。 すべてのカメラを「なし」に設定した場合、メニュー画面を消したときに「全てのカメラを表示するには設定できません」と表示されます。このとき [セット] ボタンを押すと、再度このメニュー画面が表示されます。 カメラの指定は、ユニット番号と端子番号で行います。例えば、3 台目の SW-2200 の「CAMERA INPUT」の 10 番端子に接続したカメラは「[3] - 10」と指定します。 「カメラタイプ / 標準状態設定」項目で、「接続なし」に設定された端子番号は「- - -」と表示され、選択できません。 <p>■表示カメラ / オートシーケンス設定画面</p>  <ul style="list-style-type: none"> 表示カメラ / オートシーケンス設定画面は複数ページで構成され、接続された SW-2200 の台数に応じて最大ページが異なります。
オートシーケンス時間	1 秒～ 30 秒 ● 2 秒	オートシーケンス中のカメラの切換時間を設定します。
アラーム映像出力	●表示 表示しない	アラーム時に、アラームポジションのカメラ映像をモニター出力に表示するかどうかの設定をおこないます。
アラーム時間終了後動作	●標準 そのまま	<p>アラーム時間の終了後、該当のモニター出力をオート (標準) 動作に戻すか、そのままにするか、を設定します。</p> <p>標準 : アラーム終了後にアラーム入力前の状態に戻ります。</p> <p>そのまま : アラーム入力のあった映像をアラーム終了後、メニューで設定した標準状態 (→ 43 ページ「カメラタイプ / 標準状態設定」) で出力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> アラーム映像出力メニューで「表示しない」を選択した場合、「- - -」が表示され選択できません。

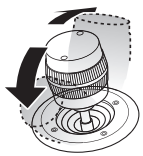
■ カメラメニュー設定

各カメラにタイトルを付けます。これらをあらかじめ設定することにより、ホームポジションの設定、プリセットポジションの設定などが、スムーズに行えます。

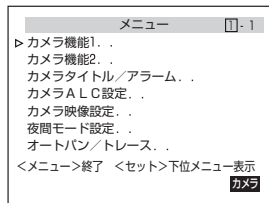
このメニューの設定項目は、接続したカメラによって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。

1. 通常メニュー画面を表示させる

2. 「カメラメニュー設定」を選び、 「セット」ボタンを押す



(例) TK-S685/
TK-S686B の場合



カメラのメニューが表示されます。

- カメラのメニューは黄色で表示され、画面右下に **カメラ** が点滅表示されます。

3. カメラタイトルを設定する

- カメラタイトルの設定方法は機種により異なります。詳しくは各機種の取扱説明書をご覧ください。

4. [送る] ボタンを押して、次のカメラの 映像を表示させる

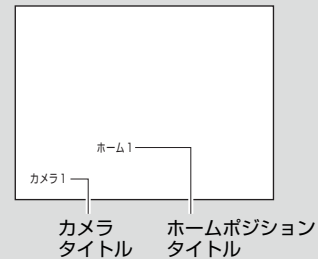


5. 手順3と4をくり返し、他のカメラの 設定をする

メモ

- 通常メニュー画面表示中に[メニュー]ボタンを押すと、ひとつ前の画面へ戻ります。
- [システム設定] - 「カメラタイプ / 標準状態設定」(→ 43 ページ) で、カメラタイプが次のいずれかに設定されているカメラは選択できません。
 - 「非通信制御カメラ」
 - 「リレーボックス」
 - 「リレーボックス (オートパン)」

(例) カメラタイトル→「カメラ 1」
ホームポジションタイトル→「ホーム 1」
と設定した場合の画面上の表示



- ホームポジションタイトルの設定については、51 ページをご覧ください。

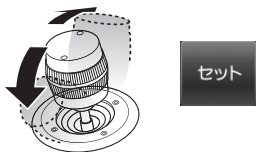
■ ホームポジション設定

サブメニュー: 「ユニット-端子番号」

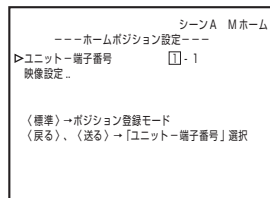
接続しているすべてのカメラのホームポジションの画角を設定します。

1. 通常メニュー画面を表示させる

2. 「ホームポジション設定 ..」を選び、 「セット」 ボタンを押す

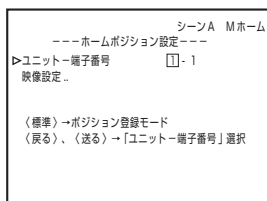
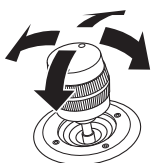


「ホームポジション設定」画面が表示されます。



ホームポジション設定

3. 「ユニット-端子番号」を選び、 設定したいカメラを選ぶ



ホームポジション設定

選択したカメラの映像に切り換わります。

- カメラの指定は、ユニット番号と端子番号で行います。例えば、3 台目の SW-2200 の「CAMERA INPUT」の 10 番端子に接続したカメラは「[3]-10」と指定します。
- テンキーを使用して、カメラを切り換えることもできます。ユニット-端子番号「[2]-7」に切り換えるときは [2] [0] [7] とテンキーを押して、[確定] ボタンを押します。

4. 「オート (標準)」 ボタンを押して、 ポジション登録モードに切り換える



モニターに「ポジション登録」と表示され、[オート (標準)] ランプが点灯します。

- もう一度押すと、「ホームポジション設定」画面に戻ります。

5. 画角を調節する

パン/チルト/ズーム コントロールレバーや [(フォーカス) 近] / [(フォーカス) 遠] ボタンなどで、必要に応じて画角を調節します。

6. 「確定」 ボタンを押して、 画角を決定する

モニターに「ホームポジションを設定しました」と表示され、現在選んでいるカメラのホームポジションが登録されます。

次のカメラの映像が表示されます。

- [確定] ボタンの代わりに、本体の [送る] / [戻る] ボタンでカメラを切り換えることもできます。

7. 手順 5 と 6 をくり返し、他のカメラの 設定をする

メモ

- 通常メニュー画面表示中に [メニュー] ボタンを押すと、ひとつ前の画面へ戻ります。
- チルト操作またはズーム操作をしながら画角を決定すると、「チルト位置が設定範囲外です」または「ズーム位置が設定範囲外です」と表示されることがあります。この表示があった場合は、チルト操作またはズーム操作を停止して、再度画角を決定してください。

設定 (つづき)

■ ホームポジション設定 (つづき)

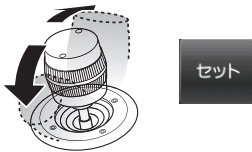
サブメニュー：「映像設定 ..」

ホームポジションの映像を調節します。

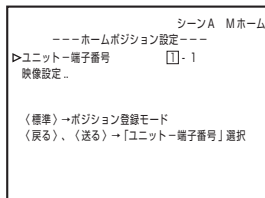
このメニューの設定項目は、接続したカメラによって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。

1. 通常メニュー画面を表示させる

2. 「ホームポジション設定 ..」を選び、 [セット] ボタンを押す

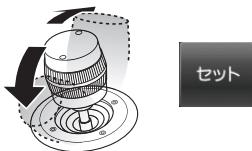


「ホームポジション設定」画面が表示されます。



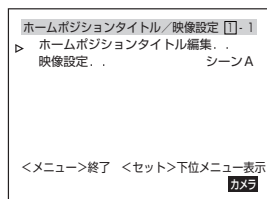
ホームポジション設定

3. 「映像設定 ..」を選び、 [セット] ボタンを押す



カメラの映像設定画面が表示されます。

TK-S685/TK-S686B の例



映像設定画面

- カメラのメニューは黄色で表示され、画面右下に **カメラ** が点滅表示されます。

4. ホームポジションタイトルや映像の設定 を行う

- ホームポジションタイトルや映像の設定方法は、機種により異なります。詳しくは各機種の取扱説明書をご覧ください。

5. 本体の [送る] / [戻る] ボタンを押して 設定を確定する

次または前のホームポジション映像に切り換わります。

- [メニュー] ボタンを押すと、設定を確定して手順3の画面に戻ることができます。

6. 手順4と5をくり返し、他のポジション の設定をする

■ プリセットポジション設定

プリセットポジションをカテゴリーに分類しながら登録します。

このメニューの設定項目は、接続したカメラによって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。

カテゴリーについて

カメラ 1 台あたりに登録できるプリセットポジションの数は、255 (カメラによって異なります) で、カメラを複数台使用するシステムでは、その総数が膨大な数になります。

そこで、プリセットポジションを、例えば、場所ごとにグループ化しておくことで運用上便利になります。

本システムでは、このグループを「カテゴリー」と呼び、カテゴリーは①～⑥までの番号が割り振られています。最大 6 カテゴリーまで設定することが可能です。

カテゴリーによって登録できるプリセットポジションの数は異なります。

(カテゴリー①は最大 4000、カテゴリー②は最大 1000、カテゴリー③～⑥は最大 100 までのプリセットポジションを登録することができます。)

カテゴリー①には最も多くのプリセットポジションを必要とする場所を割り当てます。また、カテゴリー⑥はプリセットシーケンス機能 (→ 24 ページ) に対応していますので、ポジションを自動で切り換えて監視する場所を割り当てることができます。

液晶パネルのカテゴリーボタンには、[(1)]～[(6)] [遊技台] [パチンコ] [パチスロ] [スロット] [両替機] [計数機] [券売機] [景品所] [換金所] [ホール] [駐車場] [非常口] [出入口] [エントランス] [エレベータ] から自由に割り当てることができます。

設定 (つづき)

■ プリセットポジション設定 (つづき)

●は工場出荷時の値です。

項目	設定値	内容
カテゴリー	● ① ② ③ ④ ⑤ ⑥	登録（修正、削除）をするカテゴリーの設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> 登録できるポジション数はカテゴリーにより異なります。 カテゴリー① 最大 4000 ポジション カテゴリー② 最大 1000 ポジション カテゴリー③～⑥ 最大 100 ポジション 「番号モード」を「4,9 抜き」に設定した場合、登録できる最大ポジション数は少なくなります。 カテゴリー⑥はプリセットシーケンスに対応しています。 (→ 24 ページ「プリセットシーケンス動作」)
ポジションタイトル設定		カテゴリーごとにタイトルの設定をします。 カテゴリータイトルは「パチンコ」「スロット」など、グループを表す名称にすると便利です。
ポジションタイトル表示	● あり なし	カテゴリーごとのポジションタイトルを表示するかどうかを設定します。
カテゴリータイトル編集		カテゴリーごとに、表示するタイトルを編集します。 タイトル文字数は最大 8 文字です。 (→ 55 ページ)
番号表示種	● 番台 PO- NO. 番号のみ	表示するプリセットポジション番号に付ける文字を設定します。 「番台」は番号の後ろ、「PO-」、「NO.」は番号の前に付加されます。 (例) 77 番台 PO-77, NO.77
マルチポジション表示	● なし あり (前) あり (後)	ポジションタイトルにマルチポジション表示 (「A」「B」「C」) をするかどうかを設定します。 なし : (例) 77 番台 あり (前) : (例) A77 番台 あり (後) : (例) 77 番台 A
番号モード	● 4,9 抜き 連続番号	プリセットポジション番号に「4」または「9」を含まない「4,9 抜き」にするか、連番にするかを設定します。 「4,9 抜き」に設定すると、「4」と「9」を含む数字のポジション番号を使用することはできません。 <ul style="list-style-type: none"> マルチポジションの B ポジションと C ポジションでは、A ポジションで設定された番号モードにしたがいます。(「-」と表示され、設定できません。)
登録	● A ポジション B ポジション C ポジション	複数のプリセットポジションに、マルチポジション機能を設定します。 マルチポジション機能を使わない場合は、すべてのプリセットポジションを「A ポジション」に設定します。 「B ポジション」「C ポジション」として登録されるプリセットポジションは、「A ポジション」として登録されている他のプリセットポジションと同じ番号が設定されている場合のみ登録することができます。(→ 56 ページ)
<p>■プリセットポジション登録画面</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>(1) -1 番台 シーンA M001-</p> <p>-プリセットポジション カテゴリー①-A登録-</p> <p>▶プリセット番号 1</p> <p>ユニット→端子番号 □-1</p> <p>映像設定。</p> <p>〈標準〉→ポジション登録モード 〈戻る〉、〈送る〉→登録済みポジション選択</p> </div>		

■ プリセットポジション設定 (つづき)

●は工場出荷時の値です。

項目	設定値	内容
登録 (つづき)		登録するプリセットポジション番号の選択をします。
プリセット番号	<ul style="list-style-type: none"> ・ カテゴリー① 1 ~ 4000 ・ カテゴリー② 1 ~ 1000 ・ カテゴリー③ 1 ~ 100 ・ カテゴリー④ 1 ~ 100 ・ カテゴリー⑤ 1 ~ 100 ・ カテゴリー⑥ 1 ~ 100 	<p>ポジション登録するプリセットポジション番号を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録できるポジション数はカテゴリーにより異なります。 ・ マルチポジション機能の「B ポジション」「C ポジション」で登録するプリセット番号は、「A ポジション」で登録されたプリセット番号と同じにする必要があります。
ユニット-端子番号	<p>● [1] - 1 ~ [5] - 16 (SW-2200 を 5 台接続した場合)</p>	<p>プリセットポジションを登録するカメラを「ユニット-端子番号」で選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カメラの指定は、ユニット番号と端子番号で行います。例えば、3 台目の SW-2200 の「CAMERA INPUT」の 10 番端子に接続したカメラは「[3] - 10」と指定します。 <p>■プリセットポジション登録画面</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>(1) - 1番台 シーンA M001 --プリセットポジション カテゴリ①-A登録-- プリセット番号 1 ▶ユニット-端子番号 [1]-1 映像設定..</p> <p>〈標準〉→ポジション登録モード 〈戻る〉、〈送る〉→登録済みポジション選択</p> </div>
映像設定		<p>接続されたカメラのカメラ側のメニューを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メニュー画面は、カメラによって異なります。詳細は接続カメラの取扱説明書をご覧ください。
クリア	<p>● 全て (A,B,C) B ポジション のみ C ポジション のみ</p>	<p>登録されたプリセットポジションを、プリセット番号単位で消去します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「A ポジション」をクリアすると、マルチポジションを登録している「B ポジション」「C ポジション」もクリアされるため、「A ポジション」のみをクリアすることはできません。 <p>■プリセットポジションクリア画面</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>(1) - 1番台 シーンA M001 --プリセットポジション カテゴリ①クリア-- ▶プリセット番号 1 全て (A、B、C)</p> <p>〈確定〉→ポジションクリア 〈戻る〉、〈送る〉→登録済みポジション選択</p> </div>

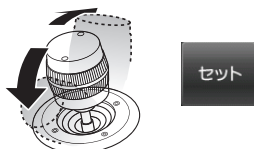
設定 (つづき)

■ プリセットポジション設定 (つづき)

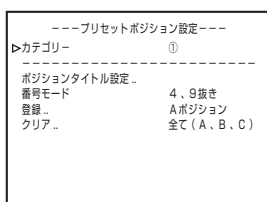
サブメニュー: 「ポジションタイトル設定 ..」

1. 通常メニュー画面を表示させる

2. 「プリセットポジション設定」を選び、 [セット] ボタンを押す



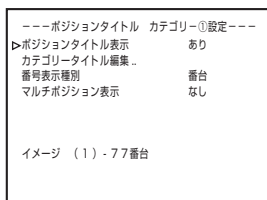
「プリセットポジション設定」画面が表示されます。



プリセットポジション設定

3. 「ポジションタイトル設定」を選び、 [セット] ボタンを押す

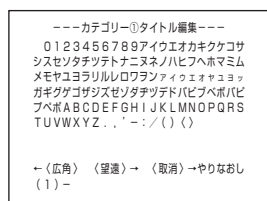
「ポジションタイトル設定」画面が表示されます。



ポジションタイトル設定

4. 「カテゴリタイトル編集」を選び、 [セット] ボタンを押す

「カテゴリタイトル編集」画面が表示されます。



カテゴリタイトル編集

5. パン / チルト / ズーム コントロールレバーでタイトルを編集する

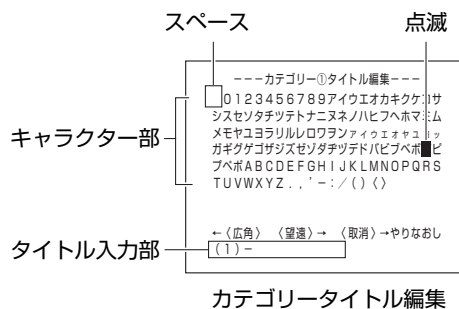


キャラクター部の
カーソル移動
(パン / チルト操作)



タイトル入力部の
カーソル移動
(ズーム操作)

レバーを傾けてキャラクター部の文字を選択し、レバーを回転させてタイトル入力部のカーソルを移動させて次のマスに移動します。



6. 手順5 をくり返し、タイトルを入力する

- タイトルは8文字まで入力できます。
- [取消] ボタンを押すと、入力前の状態に戻ります。
- タイトル入力部の文字位置をパン / チルト / ズーム コントロールレバーで動かして、上書き入力することができます。文字を消去したい場合は画面左上のスペースを入力します。

7. [メニュー] ボタンを押す

「ポジションタイトル設定」画面に戻り、画面下の部分に「データをメモリしました」と約3秒間表示され、タイトルが記憶されます。



メモ

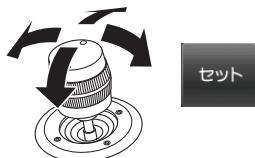
- 通常メニュー画面表示中に[メニュー] ボタンを押すと、ひとつ前の画面へ戻ります。
- カメラを追加したり、入れ換えた場合、必ず一度「ポジションタイトル設定」画面(手順3.)を表示させてください。カテゴリタイトルが正しく表示されない場合があります。

■ プリセットポジション設定 (つづき)

サブメニュー: 「登録 ..」

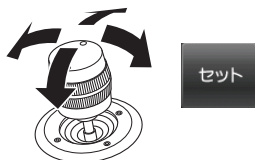
1. 通常メニュー画面を表示させる

2. 「プリセットポジション設定 ..」を選び、 「セット」 ボタンを押す



「プリセットポジション設定」画面が表示されます。

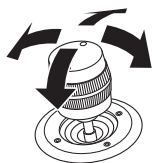
3. 「登録 ..」を選び、「A ポジション」が 表示されていることを確認して、 「セット」 ボタンを押す



「プリセットポジション登録」画面が表示されます。

- マルチポジションを設定するときは、パン / チルト / ズーム コントロールレバーを左右に動かして「B ポジション」または「C ポジション」を選びます。

4. 「ユニット-端子番号」を選び、設定し たいカメラを選ぶ



(1) - 1 番台	シーンA M001
- プリセットポジション	カテゴリ① - A登録 -
プリセット番号	1
> ユニット-端子番号	[] - 1
映像設定	

プリセットポジション登録

選択したカメラの映像に切り換わります。

- カメラの指定は、ユニット番号と端子番号で行います。例えば、3 台目の SW-2200 の「CAMERA INPUT」の 10 番端子に接続したカメラは「[3] - 10」と指定します。
- テンキーを使って、カメラを切り換えることもできます。ユニット-端子番号「[2] - 7」に切り換えるときは [2] [0] [7] とテンキーを押して、[確定] ボタンを押します。

5. [オート (標準)] ボタンを押して、 ポジション登録モードに切り換える



モニターに「ポジション カテゴリ ① - A登録」と表示され、[オート (標準)] ランプが点灯します。

- 「① - A」は登録するカテゴリ番号 (例: ①) とマルチポジション (例: A) を表します。
- もう一度押すと、「プリセットポジション登録」画面に戻ります。

6. 画角を調節する

パン / チルト / ズーム コントロールレバーや [(フォーカス) 近] / [(フォーカス) 遠] ボタンで、必要に応じて画角を調節します。

7. [確定] ボタンを押して、画角を決定する

モニターに「データをメモリしました」と表示され、プリセットポジションが登録されます。

次のプリセットポジション番号の映像が表示されます。

- 本体の [送る] / [戻る] ボタンを押すとプリセットポジション番号を切り換えることができます。

8. 手順 6 と 7 をくり返し、他のプリセッ トポジションを登録する

メモ

- チルト操作またはズーム操作をしながら画角を決定すると、「チルト位置が設定範囲外です」または「ズーム位置が設定範囲外です」と表示されることがあります。この表示があった場合は、チルト操作またはズーム操作を停止して、再度画角を決定してください。
- 「システム設定」 - 「カメラタイプ / 標準状態設定」 (→ 43 ページ) で、カメラタイプが次のいずれかに設定されているカメラは選択できません。
 - 「リレーボックス」
 - 「リレーボックス (オートパン)」
- 1 台のカメラに設定できるプリセットポジションの総数はカメラによって上限が決まっています。上限を超えてプリセットポジションを登録しようとする時「全てのメモリーが登録済みです。他のカメラを選んでください」と表示され、手順 3 の「プリセットポジション登録」画面に戻ります。

設定 (つづき)

■ プリセットポジション設定 (つづき)

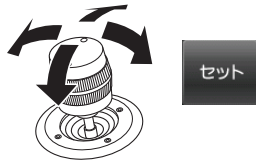
サブメニュー：「映像設定 ..」

プリセットポジションの映像を調節します。

このメニューの設定項目は、接続したカメラによって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。

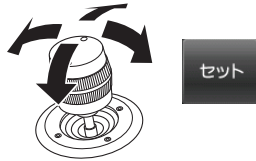
1. 通常メニュー画面を表示させる

2. 「プリセットポジション設定 ..」を選び、 [セット] ボタンを押す

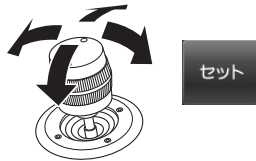


「プリセットポジション設定」画面が表示されます。

3. 「登録 ..」を選び、 [セット] ボタンを押す

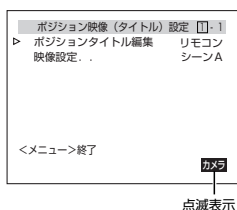


4. 「映像設定 ..」を選び、 [セット] ボタンを押す



カメラの映像設定画面が表示されます。

TK-S685/TK-S686B の例



映像設定画面

- カメラのメニューは黄色で表示され、画面右下に **カメラ** が点滅表示されます。

5. プリセットポジションごとの映像設定 などを行う

- 映像の設定方法は機種により異なります。詳しくは各機種の取扱説明書をご覧ください。

6. 本体の [送る] / [戻る] ボタンを押して 設定を確定する

次または前のプリセットポジション映像に切り換わります。

- [送る] / [戻る] ボタンを押す前に [メニュー] ボタンを押すと、手順 3 の画面に戻ります。

7. 手順 5 と 6 をくり返し、他のプリセッ トポジションの調節をする

メモ

- カメラメニューのないカメラを使用している場合、モニターに「当該カメラはメニューをサポートしていません」と表示されます。

設定 (つづき)

■ アラーム設定

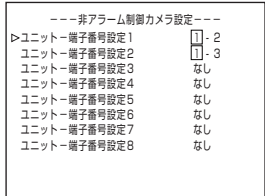
●は工場出荷時の値です。

項目	設定値	内容
優先モード	●マニュアル アラーム	モニター 1 に出力しているカメラを手動で操作中に、アラームが入った場合の動作を設定します。 マニュアル ：手動での操作中は、アラームが入ってもアラーム動作しません。 (マニュアル優先) アラーム ：手動での操作中かどうかに関わらず、アラームが入るとアラーム動作になります。(アラーム優先)
アラーム戻り時間	5 ~ 10 秒 (1 秒ごと) ●15 秒 20 秒 25 秒 30 秒 戻らない	アラーム動作の時間を設定します。「戻らない」に設定すると、アラームを手動で解除するまでアラーム動作は継続します。 (→ 30 ページ「アラーム動作を解除する」)

■ アラームメニューの設定

メニュー画面を表示させるとき (→ 41 ページ) に、パスワード「3333」を入力した際に表示されるメニューです。

●は工場出荷時の値です。

項目	設定値	内容
非アラーム制御カメラ設定	●なし 1 - 1 ~ 5 - 16	重要な監視場所などで、カメラがアラーム入力の影響を受けないように設定します。カメラは 8 台まで設定することができます。 ・ この設定は、SW-2200 のアラーム端子に入力したアラーム信号にのみ有効です。カメラ側のアラームが入った場合は、非アラーム制御カメラの設定がされていてもアラーム動作します。 ・ カメラの指定は、ユニット番号と端子番号で行います。例えば、3 台目の SW-2200 の「CAMERA INPUT」の 10 番端子に接続したカメラは「[3] - 10」と指定します。 ■非アラーム設定画面 
特定アラーム制御種別設定		「特賞」「呼出」などのアラーム入力が高頻度に入ると、アラーム動作しないように設定することができます。
特賞	●あり なし	あり ：特賞、特賞発生、特賞終了、連続特賞、連続特賞終了、スタート、大当りのアラームが入ったときには、アラーム動作しません。 なし ：上記のアラームが入った場合も、アラーム動作します。
呼出	●あり なし	あり ：「呼出」アラームが入ったときには、アラーム動作しません。 なし ：「呼出」アラームが入ってもアラーム動作します。

■ アラーム動作について

アラーム入力があるとアラーム動作中のポジション映像に切り換わり、アラームランプが点灯するなどのアラーム動作を行います。

アラーム動作

マニュアル優先モード

モニター 1 で監視しているカメラをマニュアル操作しているとき、そのカメラをアラーム動作させないようにします。ただし、以下の場合はアラーム動作を行います。

- オート (標準) 状態
- ホームポジション状態
- オートパン中 (オートパン中に操作したカメラは、アラーム動作を行いません)
- カメラ側のアラームが入ったとき
- 操作中のカメラがアラーム対象ポジションのプリセット登録に使用されていない場合は、アラーム映像をモニター 2 ~ 5 に出力します。
- アラーム制御パターンが“一斉”もしくは“補完”の場合は、アラーム対象ポジションに対してマルチポジション登録されているカメラがあれば、そのカメラがアラーム動作を行い、アラーム映像をモニター 2 ~ 5 に出力します。

アラーム優先モード

メニュー表示中以外は、優先してアラーム動作を行います。

メモ

マニュアル優先モードについて

- マニュアル優先モードは、SW-2200 のアラーム端子に入力したアラーム信号にのみ有効です。カメラ側のアラームが入った場合は、マニュアル優先に設定されていてもアラーム動作を行います。

【アラーム】ランプについて

【アラーム】ランプは、モニターのカメラ映像状態と一致しますが、カメラ / ポジション番号表示部に表示される番号とは一致しない場合があります。

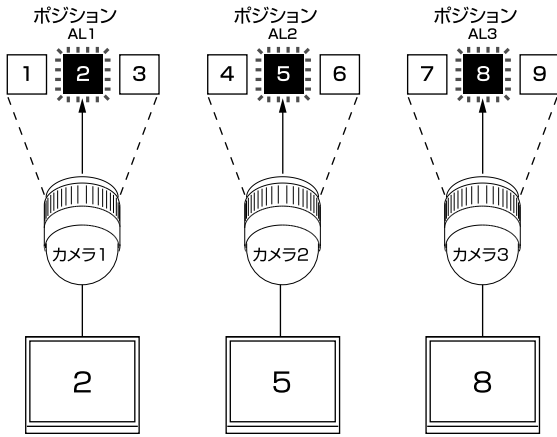
- 点灯：表示中のカメラにアラームが入ったとき
- 点滅：表示中のカメラが非アラーム状態で、モニター出力に表示可能なカメラにアラームが入ったとき
- 消灯：モニター出力に表示可能なカメラ以外のカメラにアラームが入ったとき (アラーム入力があっても)

アラーム検索について

- システム設定の「リモコンオプションキー」項目が“アラーム切替”に設定されていると、複数のアラームが入力した場合、【オプション】ボタンを押すごとにアラーム動作中のカメラを切り換えます。
- アラーム状態のカメラを表示中、(【アラーム】ランプは点灯) リモコンでのパン / チルト操作、およびレンズ操作はできません。
- アラーム状態のカメラがあるとき (【アラーム】ランプは点灯あるいは点滅) は、【メニュー】ボタンおよび【本体設定】ボタンは動きません。
- メニュー画面表示中は、アラームを受けつけません。
- 本体設定中は【アラーム】ランプを含め、【電源】ランプ以外のすべてのランプが点灯しません。

■ アラーム制御パターンについて

アラーム時の動作はシステム設定項目の「アラーム制御パターン」項目の設定により標準・一斉・補完動作のいずれかを選択可能です。(→ 43 ページ)



● 標準

- AL1. ポジション 2 にアラームが入ると、カメラ 1 の映像がポジション 2 に切り換わります。
- AL2. 続けて、ポジション 5 にアラームが入ると、カメラ 2 の映像がポジション 5 に切り換わります。
- AL3. 続けて、ポジション 8 にアラームが入ると、カメラ 3 の映像がポジション 8 に切り換わります。

設定条件

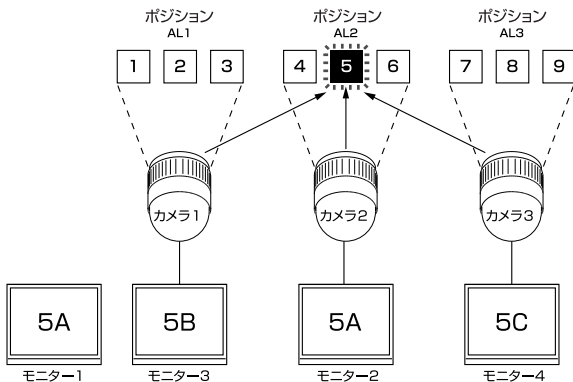
- ポジション 1～3 はカメラ 1 で、ポジション 4～6 はカメラ 2 で、ポジション 7～9 はカメラ 3 で登録されている場合
- 「アラーム制御パターン」項目を“標準”に設定

● 一斉

ポジション 5 にアラームが入ると、カメラ 1、カメラ 2、カメラ 3 の映像が同時にポジション 5 に切り換わります。

設定条件

- 「プリセットポジション設定」画面で、マルチポジション A、B、C を設定
- A ポジションをカメラ 2 のポジション 5 に設定
- B ポジションをカメラ 1 のポジション 5 に設定
- C ポジションをカメラ 3 のポジション 5 に設定
- アラーム制御パターン項目を“一斉” [モニター 3 台] に設定

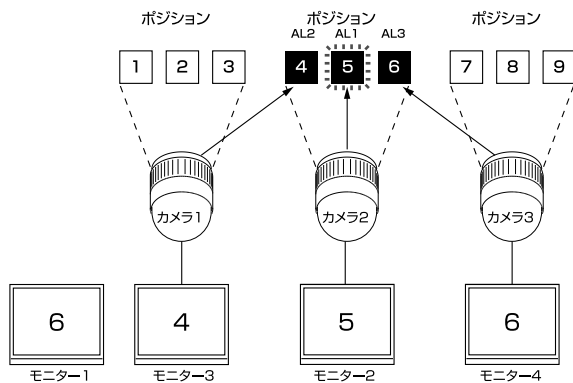


● 補完

- AL1. ポジション 5 にアラームが入ると、カメラ 2 の映像がポジション 5 に切り換わります。
- AL2. 続けて、ポジション 4 にアラームが入ると、カメラ 1 の映像がポジション 4 に切り換わります。(カメラ 2 は切り換わらない)
- AL3. 続けて、ポジション 6 にアラームが入ると、カメラ 3 の映像がポジション 6 に切り換わります。(カメラ 1、カメラ 2 とともに切り換わらない)

設定条件

- 「プリセットポジション設定」画面で、マルチポジション A、B、C を設定
- ポジション 4 の A をカメラ 2、B をカメラ 1、C をカメラ 3 に設定
- ポジション 5 の A をカメラ 2、B をカメラ 1、C をカメラ 3 に設定
- ポジション 6 の A をカメラ 2、B をカメラ 1、C をカメラ 3 に設定
- アラーム制御パターン項目を“補完” [モニター 3 台] に設定



アラーム制御パターンとアラーム入力時制御できるモニター出力の関係

システム設定「アラーム制御パターン」項目(→43ページ)の設定で、各リモコンで制御できるモニター、およびアラーム入力時、モニターに表示されるカメラ映像が異なります。

下の表は、アラーム制御パターンごとにモニター1～5(SW-2200の背面MONITOR OUTPUT1～5に接続されたモニター)を制御できるリモコン1～5(SW-2200の背面TO RM-P2200 1～5に接続されたリモコン)を表しています。

また、表中の「A登録カメラ」「B登録カメラ」「C登録カメラ」とは、マルチポジションA,B,Cにそれぞれ登録されたカメラを表しています。

アラーム制御パターン		モニター出力	モニター1	モニター2	モニター3	モニター4	モニター5
標準	モニター表示	最新アラームだけを表示					
	制御可能リモコン		リモコン1	リモコン1またはリモコン2	リモコン1またはリモコン3	リモコン1またはリモコン4	リモコン1またはリモコン5
一斉 (モニターなし)	モニター表示	最新アラームのA登録カメラだけを表示					
	制御可能リモコン		リモコン1	リモコン1またはリモコン2	リモコン1またはリモコン3	リモコン1またはリモコン4	リモコン1またはリモコン5
一斉 (モニター2台)	モニター表示	最新アラームのA登録カメラを表示	最新アラームのA登録カメラを表示	最新アラームのB登録カメラを表示	最新アラームのA登録カメラを表示		
	制御可能リモコン	リモコン1	アラーム専用のため操作不可	アラーム専用のため操作不可	リモコン4	リモコン5	
一斉 (モニター3台)	モニター表示	最新アラームのA登録カメラを表示	最新アラームのA登録カメラを表示	最新アラームのB登録カメラを表示	最新アラームのC登録カメラを表示	最新アラームのA登録カメラを表示	
	制御可能リモコン	リモコン1	アラーム専用のため操作不可	アラーム専用のため操作不可	アラーム専用のため操作不可	リモコン5	
補完 (モニターなし)	モニター表示	最新アラームの追尾カメラを表示					
	制御可能リモコン		リモコン1	リモコン1またはリモコン2	リモコン1またはリモコン3	リモコン1またはリモコン4	リモコン1またはリモコン5
補完 (モニター2台)	モニター表示	最新アラームの追尾カメラを表示	最新あるいは1つ前のアラームの追尾カメラをモニター2と3で交互に表示		最新アラームの追尾カメラを表示	最新アラームの追尾カメラを表示	
	制御可能リモコン	リモコン1	アラーム専用のため操作不可	アラーム専用のため操作不可	リモコン4	リモコン5	
補完 (モニター3台)	モニター表示	最新アラームの追尾カメラを表示	最新～2つ前までのアラームの追尾カメラをモニター2、3、4の順に繰り返し表示			最新アラームの追尾カメラを表示	
	制御可能リモコン	リモコン1	アラーム専用のため操作不可	アラーム専用のため操作不可	アラーム専用のため操作不可	リモコン5	

■ はアラーム専用モニター

- ・アラーム制御パターンを、一斉(モニター2台)、一斉(モニター3台)、あるいは補完(モニター2台)、補完(モニター3台)に設定すると、モニター2、3、もしくはモニター2、3、4はアラーム専用モニターとなり、一斉追尾時のマルチポジション表示あるいは補完追尾時の複数アラーム表示専用となります。(■アラーム専用モニター)
- ・一斉(モニターなし)、あるいは補完(モニターなし)に設定した場合、アラーム入力があるとマルチポジション登録されているカメラは、一斉あるいは補完追尾を行います。モニター画面上は最新のアラーム映像のみを表示します。

アラーム専用モニター

- ・アラーム専用モニターはリモコンから操作することができません。
- ・アラーム専用モニターを使用する場合、リモコン1ではモニター1以外を制御することができません。
- ・アラーム専用モニターを使用する場合、モニター2、3(またはモニター2、3、4)の出力設定(→48ページ「モニター2～5出力設定」)は無効となり、アラーム入力により全てのカメラが表示されます(オートシーケンス動作はしません)。
- ・電源OFF→ON時、アラーム専用モニターに表示できる最小カメラ番号の映像を出力します。それ以降はアラーム入力がある度にアラーム動作(アラームカメラ映像の表示)を行い、アラーム解除後はアラーム追尾したカメラが標準状態に戻り、その映像を表示したままになります。

■ 本体設定

ご使用の環境に合わせて、本体の操作や画面についての設定を変更します。
ここでは「カテゴリー名称設定」と「COM 端子通信設定」について説明します。
その他の本体設定項目については、以下のページをご覧ください。

- テンキーの配列を変更する (→ 35 ページ)
- 操作音の音量を調節する (→ 35 ページ)
- 省電力モードに入るまでの時間を変更する (→ 36 ページ)
- パン / チルトの速さを調節する (→ 36 ページ)
- 画面の明るさを調節する (→ 36 ページ)
- タッチパネルを調整する (→ 37 ページ)

(「カテゴリー名称設定」については下記、「COM 端子通信設定」については、63 ページをご覧ください)

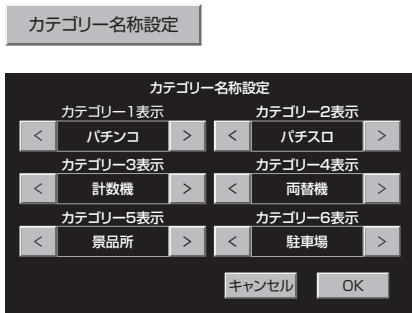
カテゴリー名称設定

カテゴリーボタンの名称を変更します。

1. [屋外タブ] の [本体設定] ボタンを押す



2. [カテゴリー名称設定] ボタンを押す



カテゴリー名称設定

「カテゴリー名称設定」画面が表示されます。

3. 設定したい項目の [<] ボタンまたは [>] ボタンを押して、設定値を変更する



選択できる項目 (初期値)

[(1)] ~ [(6)] *¹ [遊技台] [パチンコ]
[パチスロ] [スロット] [両替機] [計数機]
[券売機] [景品所] [換金所] [ホール] [駐車場]
[非常口] [出入口] [エントランス]
[エレベータ]

*¹ それぞれのカテゴリーに対応する番号のみ、選択可能です。

- それ以上選択できる項目がないときは、[<] ボタンまたは [>] ボタンがグレーで表示されます。



選択できる項目があるとき

選択できる項目がないとき

- 異なるカテゴリーで同じカテゴリー名称を選択することはできません。

4. [OK] ボタンを押す

「カテゴリー名称設定」画面が終了し、「本体設定」画面に戻ります。

設定 (つづき)

■ 本体設定 (つづき)

COM 端子通信設定

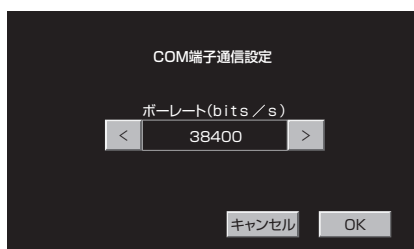
COM 端子のボーレートを選択します。

1. [屋外タブ] の [本体設定] ボタンを押す



2. [COM 端子通信設定] ボタンを押す

COM端子通信設定



COM 端子通信設定

「COM 端子通信設定」画面が表示されます。

3. [<] ボタンまたは [>] ボタンを押して、設定値を変更する

選択できる項目 (初期値)
9600、38400

メモ

・SW-2200 と接続する場合は、必ず「38400」に設定してください。

4. [OK] ボタンを押す

「COM 端子通信設定」画面が終了し、「本体設定」画面に戻ります。

■ キーロック (誤操作防止)

誤操作防止のため、フロントパネルと液晶パネル上のすべてのボタン、パン / チルト / ズーム コントロールレバーの操作を無効にします。

キーロック (誤操作防止) を設定する

1. [セット] ボタンを 5 秒以内に 10 回押す

液晶パネルの上部に「キーロックを設定しました。」と表示され、キーロック (誤操作防止) が有効になり、すべての操作が無効となります。

セット

- キーロックが有効なときに操作をしようとすると、液晶パネルに「キーロック中です。」と表示されません。
- キーロックの設定はカメラ操作画面以外では行えません。また、本機が待機中や [メニュー] ボタンが「入」のとき、または液晶パネル画面上部にメッセージが表示されているときも行えません。

解除する

1. キーロック中に、[セット] ボタンを 5 秒以内に 10 回押す

液晶パネルの上部に「キーロックを解除しました。」と表示され、キーロックが解除されます。

■ 設定時のメッセージ表示について

操作内容によって以下のメッセージが表示されます。

設定時のメッセージ表示	内 容
パスワードが正しくありません	<ul style="list-style-type: none"> パスワードが正しく入力されなかった場合に表示されます。再度パスワードを入力してください。
すべての端子を接続なしに設定できません	<ul style="list-style-type: none"> 「カメラタイプ / 標準状態設定」で、SW-2200 のすべての接続端子を「接続なし」に設定した場合に表示されます。(この場合、[1] - 1 が強制的に「非通信制御カメラ」に設定されます)
すべてのカメラを表示なしには設定できません！ <セット>→ モニター*表示カメラ / オートシーケンス設定 (* : 2 ~ 5)	<ul style="list-style-type: none"> モニター 2 ~ 5 「表示カメラ / オートシーケンス設定」で、すべての表示カメラを「なし」に設定した場合に表示されます。
設定可能なカメラがありません (メニューキーで戻ります)	<ul style="list-style-type: none"> 「カメラメニュー設定」および「ホームポジション設定」を表示したとき、通信制御カメラが 1 台も設定されていない場合に表示されます。 「プリセットポジション登録」で、マルチポジション登録可能なカメラ (通信制御カメラおよび非通信制御カメラ) が 1 台のみのシステムで、マルチポジションを設定しようとした場合に表示されます。
同じカメラをマルチポジションに登録することはできません	<ul style="list-style-type: none"> 「プリセットポジション登録」で、1 つのポジションに対して同じカメラでマルチポジションを設定しようとした場合に表示されます。(表示後、「プリセットポジション登録」に戻ります)
すべてのメモリーが登録済です。他のカメラを選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> 通信制御カメラ 1 台に登録可能数以上のプリセットポジションに登録しようとした場合に表示されます。 TK-S685/TK-S686B : 255 ポジション (登録可能なポジションの数はカメラによって異なります)
A ポジションの設定を行ってください	<ul style="list-style-type: none"> 「プリセットポジション登録」で、A ポジションに登録していないカテゴリに対し、B または C ポジションの登録をしようとした場合に表示されます。
カメラ (*) の変更によりプリセットは無効です！ クリアもしくは他のカメラで登録してください。 * : [1] - 1 ~ [5] - 16	<ul style="list-style-type: none"> カメラ設定の変更などにより、既存のプリセット番号が無効になっている場合に、「プリセットポジション登録」で表示されます。
当該カメラはメニューをサポートしてません	<ul style="list-style-type: none"> 「プリセットポジション登録」の「映像設定」で、選択したプリセットポジションのカメラが、非通信制御カメラである場合に表示されます。
ポジションをクリアしました	<ul style="list-style-type: none"> プリセットポジションのクリアを実行した場合に表示されます。
登録されているポジションはありません (メニューキーで戻ります)	<ul style="list-style-type: none"> プリセットポジションのクリアを実行した結果、同じカテゴリ内に登録されているプリセットポジションが 1 つもなくなった場合に表示されます。

その他

■ 液晶パネルのメッセージ表示について

メッセージ表示	内容
システムコントロールユニットに接続中です。	• RM-P3000 の電源を入れたときに、SW-2200 との通信が確立されるまで表示されます。
システムコントロールユニットの初期化待ちです。 しばらくお待ちください。	• SW-2200 の初期化が終了し、操作が可能になるまで表示されます。
システムコントロールユニットと通信ができません。	• RM-P3000 と SW-2200 の通信ができなくなったときに表示されます。
システムコントロールユニットの接続端子が正しくありません。	• RM-P3000 が、SW-2200 の操作権のない接続端子に接続されたときに表示されます。
キーロックを設定しました。	• キーロックが設定されたときに、約 2 秒間表示されます。
キーロック中です。	• キーロック中に [セット] ボタン以外のボタンが押されたときに、約 2 秒間表示されます。
キーロックを解除しました。	• キーロックが解除されたときに、約 2 秒間表示されます。

その他

■ こんなときは

こんなときは	ご確認ください	参照ページ
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> コンビネーションカメラに AC24V 電源が接続されていますか？ カメラと SW-2200 および SW-2200 と CCU（カメラコントロールユニット）は接続されていますか？ SW-2200 とモニターは正しく接続されていますか？ SW-2200 を複数台使用するシステムの場合、モニターが接続できるのは 1 台の SW-2200 のみです。 	カメラの「取扱説明書」 SW-2200 の「取扱説明書」 SW-2200 の「取扱説明書」
カメラがイニシャライズ（初期設定動作）しない	<ul style="list-style-type: none"> 使用可能なカメラヘッドを接続していますか？ 	—
カメラがイニシャライズ後、勝手な方向を向いてしまう	<ul style="list-style-type: none"> ホームポジションは登録されていますか？ 	50 ページ
リモコン操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> カメラと SW-2200 が正しく接続されていますか？ カメラ本体の設定は正しく行われていますか？カメラの設定スイッチなどを正しく設定してください。 カメラ本体での設定は済んでいますか？ 以下のカメラをご使用の場合は、あらかじめカメラ本体のメニューの「REMOTE CONTROL」の設定を「ON」にする必要があります。 型名：TK-S9400/TK-S8401/TK-S8401WP/ TK-S2401/TK-S2402/TK-S2402WP カメラタイプ / 標準状態設定は正しく行われていますか？ 本機と SW-2200 の接続は正しく行われていますか？ SW-2200 を複数台使用するシステムの場合、モニターが接続できるのは 1 台の SW-2200 のみです。 モニター選択は正しく行われていますか？本機で操作できるのは、モニター番号表示部に表示されたモニターのみです。 キーロック（誤操作防止）状態になっていませんか？液晶パネルに“キーロック中です”と表示されているときは本体を操作することができません。キーロックを解除してください。 	カメラの「取扱説明書」 カメラの「取扱説明書」 カメラの「取扱説明書」 43 ページ SW-2200 の「取扱説明書」 28 ページ 64 ページ
[カメラ] ボタンでカメラが選択できない	<ul style="list-style-type: none"> 「表示カメラ / オートシーケンス設定」が“なし”に設定されていませんか？（モニター 2～5 の場合） 	48 ページ
ポジションが選択できない	<ul style="list-style-type: none"> ポジションは登録されていますか？ 	56 ページ

その他 (つづき)

■ こんなときは (つづき)

こんなときは	ご確認ください	参照ページ
パン/チルトしたときカメラの動きが遅い	<ul style="list-style-type: none">パン/チルトスピードが“4段階(遅め)”に設定されていませんか？	36 ページ
オートシーケンス動作が働かない	<ul style="list-style-type: none">ホームポジションは登録されていますか？モニター出力の「オートシーケンス設定」が“あり”に設定されていますか？「シーケンスタイプ」が“プリセットシーケンス”に設定されていませんか？モニター2～5出力の「表示カメラ/オートシーケンス設定」が“オートシーケンス”に設定されていますか？	50 ページ 47 ページ 47 ページ 48 ページ
ハードディスクレコーダーの操作ができない	<ul style="list-style-type: none">ハードディスクレコーダーのRS-232C端子がSW-2200のAUX INPUT端子に接続されていますか？システム設定メニューで外部制御設定の接続機種はVR-777に設定されていますか？	SW-2200 の「取扱説明書」 44 ページ
アラームが入っても映像が切り換わらない (アラーム優先モードの場合)	<ul style="list-style-type: none">モニター2～5の「アラーム映像出力」が“表示”になっていますか？アラームメニュー「非アラーム制御カメラ設定」で、カメラが選択されていませんか？プリセットポジションは登録されていますか？	48 ページ 58 ページ 56 ページ
液晶パネルのボタンの位置と、実際に液晶パネルにタッチした位置とのあいだにずれがある	<ul style="list-style-type: none">本体設定の「タッチパネル調整」を行なってください。	37 ページ

上記処置をしても改善されない場合は、お買い上げ販売店またはサービス窓口にご相談ください。

その他 (つづき)

■ 「ユニット－端子番号」 接続機器

カメラの設置時に各端子の接続機器などをこの表に記載しておく、設定が行いやすくなります。

ユニット	端子	No.	カメラタイプ	備考
SW-①	1	1	通信制御カメラ	TK-U1802-1-1
	2	2	通信制御カメラ	TK-U1802-1-2
	3	3	通信制御カメラ	TK-U1802-1-3
	4	4	通信制御カメラ	TK-U1802-1-4
	5	5	通信制御カメラ	TK-U1802-1-5
	6	6	通信制御カメラ	TK-U1802-1-6
	7	7	通信制御カメラ	TK-U1802-1-7
	8	8	通信制御カメラ	TK-U1802-1-8
	9	9	リレーボックス	TK-U1802-2-1
	10			
	11			
	12			
	13			
	14	10	通信制御カメラ	TK-U1802-2-2
	15	11	通信制御カメラ	TK-U1802-2-3
	16	12	非通信制御カメラ	TK-U1802-2-4

ユニット	端子	No.	カメラタイプ	備考
SW-③	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			

ユニット	端子	No.	カメラタイプ	備考
SW-①	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			

ユニット	端子	No.	カメラタイプ	備考
SW-④	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			

ユニット	端子	No.	カメラタイプ	備考
SW-②	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			

ユニット	端子	No.	カメラタイプ	備考
SW-⑤	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			

その他 (つづき)

■ 保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付してあります。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

・保証期間について

保証期間はお買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

・保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

・サービス窓口

- ・下記 URL をご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>
- ・カスタマーサポートセンター (045-939-7320)

・サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店又はサービス窓口にお問い合わせください。

- ・機種名：RM-P3000
- ・故障の状態をできるだけ詳しく：
- ・ご購入年月日
- ・ご住所、ご氏名、電話番号

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適正に処理してください。

■ 仕様

通信方式：RS-422A 規格準拠、全二重通信方式により SW-2200 と通信

電源電圧：DC 12 V

消費電流：600 mA

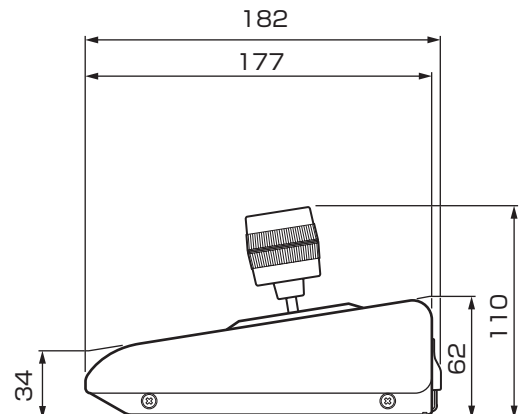
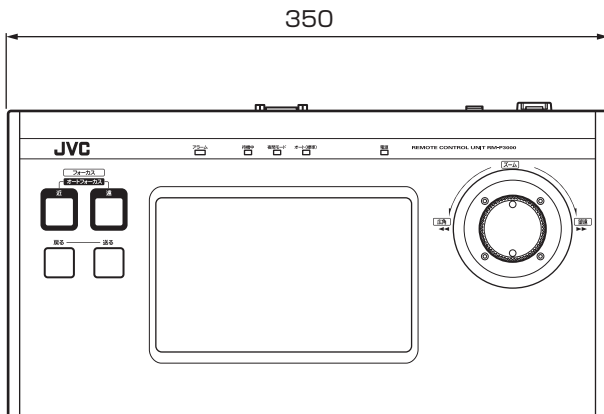
周囲温度：0 °C ~ 50 °C (動作)

0 °C ~ 40 °C (推奨)

許容動作湿度：30% RH ~ 80%RH (結露なきこと)

質量：2.0 kg

外形寸法 (単位：mm)



※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12